

第11回 宗 勢 基 本 調 査

中間報告（単純集計）

第11回宗勢基本調査実施センター

〈調査研究員〉

小谷みどり 櫻井義秀 長岡岳澄 林文

中間報告（単純集計）の公表にあたって

1. 調査の目的と内容

- (1) 目的：第11回宗勢基本調査は、宗門全体の動静を捉え、宗門に包括される一般寺院及び非法人寺院の現況を調査した基礎資料を得るとともに、統計的な分析を加え、宗務全般に十全に活用できる分析資料を作成することを目的とする。
- (2) 調査内容（項目の柱立て）：
 - ①寺院の基礎情報
 - ②寺院活動について
 - ③寺院基盤について
 - ④宗門の取り組み
 - ⑤寺院診断について
 - ⑥新型コロナウイルス感染症の影響について
 - ⑦幸福度について

2. 調査主体・実施主体

- (1) 調査主体：浄土真宗本願寺派
- (2) 実施主体：第11回宗勢基本調査実施センター
〈調査研究員〉 小谷みどり 櫻井義秀 長岡岳澄 林文

3. 調査期間

- (1) 2019（令和元）年10月～2020（令和2）年4月：調査票作成
- (2) 2020（令和2）年5月：調査延期となる（新型コロナウイルス感染症の影響による）
- (3) 2020（令和2）年10月～2021（令和3）年4月：新型コロナウイルス感染症の影響に関する設問作成
- (4) 2021（令和3）年7月1日：調査票配付 調査基準日
- (5) 2021（令和3）年7月25日：回答期限日
- (6) 2021（令和3）年8月～9月：入力作業
- (7) 2021（令和3）年10月：中間報告（単純集計）に向けたデータ処理作業

4. 調査方法：調査票と調査協力依頼書を郵送にて配付し、回答は、回答記入した調査票の郵送返信、インターネットによるWEB回答を併用

5. 母集団と調査対象者

- (1) 母集団：浄土真宗本願寺派一般寺院及び非法人寺院
※発送件数：10,101カ寺
※不着件数：1カ寺
※回答メ切後到着件数：48カ寺（2021年11月2日現在）

(2) 調査対象者：各寺院住職

※本調査は、原則、各寺院住職を調査対象者とする。しかしながら、各寺院や宗門の諸課題への適切な対応解決を図るための基礎資料を得ることを目的とするため、寺院の諸事情などに鑑み、坊守、住職代務、寺族等の回答も有効とした。

6. 調査回収数と回収率

- (1) 調査回収数：7,086通（内、郵送：3,761通 WEB回答：3,325通）
- (2) 回収率：70.2%（前回調査：68.1%）

7. 「外部研究機関による寺院診断」について

今回の調査では、併せて「外部研究機関による寺院診断」（以下「寺院診断」という。）を無償で実施する。

寺院診断は、宗勢基本調査の回答内容を外部研究機関である（株）大和総研が分析を行い、診断希望の寺院に対して、個々の寺院における運営及び管理の実態をはじめ、門信徒や地域の方々とのコミュニケーションの取りかた、外部環境変化への意識などを可能な限り「見える化」したうえで、分析を行いその内容を簡潔かつ平易にまとめた「個別寺院診断シート」、及び診断シートの理解を深める補助資料として、宗門内寺院の運営及び管理の現状や傾向等を簡易に分析、わかりやすく解説した「寺院診断分析結果報告書」をお届けするものであり、将来にわたる寺院護持に活かしていただくことを目的とする。診断結果の送付は、2022（令和4）年6月頃を予定しており、同年6月～8月まで（株）大和総研にて寺院診断の問い合わせを受付ける予定である。

なお、調査票の配付、回収、入力、分析については、（株）大和総研に委託して実施しているため、この調査で知り得た各回答寺院の個別の情報について、宗門は一切把握することはできない。

寺院診断希望件数：2,217件

8. 今後の予定

今回、「中間報告」として公表したデータは、単純集計である。皆さまから回答いただいたデータを整え、より理解しやすいように各結果の後にコメントを付け加えている。宗門の課題に応じていくための分析は、これから更に進めていく予定である。

11回目となる今回の調査では、組単位や自治体別など、従来の宗勢基本調査と比べ、より詳細な分析結果を報告することが可能となっている。なお、今回の報告は、速報的な数値であり、最終確定した数値や詳細な統計的分析は、今後の最終報告書において提示する。

以 上

第11回宗勢基本調査実施センター

集計表の凡例

(○印は1つ) をつける設問の集計表

問01-1 回答者の年齢についてあてはまる番号に○印をつけてください(○印は1つ)。

	回答	実数	%
1	10代・20代	29	0.4
2	30代	320	4.5
3	40代	1103	15.6
4	50代	1653	23.4
5	60代	1843	26.1
6	70代	1643	23.3
7	80代以上	469	6.6
	合計	7060	100.0
	欠損値	26	

コメント：50代から70代までで、全体の7割以上を占める。

回答：選択肢に記述された項目。
 実数：その選択肢に○をつけた人数、または寺院数(*1)。
 %：実数の合計に対する割合(各選択肢の%を合計すると100%になる)。
 合計：どれかひとつの選択肢に○をつけた合計人数。
 欠損値：その質問に無回答、誤回答の人数。
 コメント：この集計表からいえる結果を端的に示した(*2)。
 パーセントの数字については、原則、小数点以下を四捨五入した概数で示した。

「あてはまるものすべてに○印」など複数の選択肢に○印をつける設問の集計表

問03 寺院(敷地内外問わず)には次の施設を所有していますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	本堂	7011	99.2
2	庫裏	6806	96.3
3	会館	1703	24.1
4	葬儀など仏事専用会館	185	2.6
5	納骨堂	2701	38.2
6	墓地	2939	41.6
7	参拝者用駐車場	4453	63.0
8	該当する施設はない	23	0.3
	回答者数	7069	
	欠損値	17	

コメント：本堂と庫裏はほぼすべての寺院にあるが、参拝者用駐車場がある寺院は6割程度。墓地や納骨堂がある寺院はそれぞれ4割程度にとどまる。

・参拝者用駐車場・納骨堂・会館が、第9回調査(以下、前々回と略称)、第10回調査(以下、前回と略称)と比べ、増加傾向。

回答：選択肢に記述された項目。
 実数：その選択肢に○をつけた人数、または寺院数(*1)。
 %：実数の回答者数に対する割合(各選択肢の%を合計しても100%にならない)。
 回答者数：少なくともひとつの選択肢に○をつけた人数。回答数の合計ではないので、“合計”と表現していない。
 欠損値：その質問に無回答、誤回答の人数。
 コメント：この集計表からいえる結果を端的に示した(*2)。
 パーセントの数字については、原則、小数点以下を四捨五入した概数で示した。

特定の人が回答する設問の集計表

問07-2 住職は、寺院及び寺院に隣接する場所に住んでいますか。

	回答	実数	%
1	はい	6013	91.0
2	いいえ	598	9.0
	合計	6611	100.0
	欠損値	11	
	非該当	464	

コメント：9割は寺院、隣接地に居住。

特定の人：設問に回答する立場にある人、または寺院。
 回答：選択肢に記述された項目。
 実数：その選択肢に○をつけた人数、または寺院数(*1)。
 %：実数の合計に対する割合(各選択肢の%を合計すると100%になる)。
 合計：どれかひとつの選択肢に○をつけた合計人数。
 欠損値：その質問に無回答、誤回答の人数。
 非該当：設問に該当しない人数。
 コメント：この集計表からいえる結果を端的に示した(*2)。
 パーセントの数字については、原則、小数点以下を四捨五入した概数で示した。

「数字を記入する」設問の集計表

問17 葬儀を年間どのくらい行いましたか。過去5年間の平均回数を記入してください。また、葬儀社・派遣業者からの依頼による門信徒以外の葬儀は全体の何割にあたるかを記入してください。

【年間平均：() 回】

	回答	実数	%
1	1 回未満	144	2.1
2	1 回以上 3 回未満	821	12.0
3	3 回以上 5 回未満	845	12.3
4	5 回以上 7 回未満	818	11.9
5	7 回以上 9 回未満	475	6.9
6	9 回以上 11 回未満	760	11.1
7	11 回以上 13 回未満	294	4.3
8	13 回以上 19 回未満	684	10.0
9	19 回以上 25 回未満	681	9.9
10	25 回以上 37 回未満	711	10.4
11	37 回以上 49 回未満	237	3.5
12	49 回以上	397	5.8

合計 6867 100.0

欠損値 219

コメント：平均して月1回以上の頻度で葬儀があった寺院は、全体の40%。

回答：記入された数字をわかりやすく区分したものの。

実数：その区分内に入る数字を記入した人数、または寺院数(*1)。

%：実数の合計に対する割合(各選択肢の%を合計すると100%になる)。実数が極めて少ない場合、%が「0.0」と表記されることがある。

数字が無記入の場合、原則としては、他の項目に答えていると、無記入を「ゼロ」と判断している。すべての項目が無記入の場合は「無回答」と判断し欠損値としている。

合計：数字を記入した合計人数。

欠損値：その質問に無回答、誤回答の人数。

コメント：この集計表からいえる結果を端的に示した(*2)。

パーセントの数字については、原則、小数点以下を四捨五入した概数で示した。

(*1) 各寺院一人の回答をいただいております。数の単位は、寺院のことを尋ねる設問では「寺院数」、回答者の考えや行動を尋ねる設問では「人数」となる。

(*2) 寺院のことを尋ねている設問では「寺院」「〇か寺」など、住職や回答者のことを尋ねている設問は「住職」「〇人」などの単位を用いて表記している。

『欠損値』について

アンケート調査分析では、「無回答」などは分析対象から外さねばならないので、データが欠落しているという意味で「欠損値」と表現する。

欠損値の多くは「無回答」だが、誤回答や「回答しているがその回答に矛盾がある」ケースなども欠損値に含まれるので、正確を期すために“無回答”とは表現していない。

『非該当』について

アンケートには、前にある設問と連動する設問がある。たとえば、問7は住職に関する設問群であり、問7-1に「住職はいますか」と尋ね、問7-2から問7-8まで住職に関する設問が続く。この場合、問7-2から問7-8は問7-1で「(住職は) いる」と答えた人を対象にした設問で、それ以外の人は回答しないので「非該当」となる。このように、設問に該当しない回答者は「非該当」と表現する。

調査項目一覧

	ページ
● 基本属性（問1-1、1-2）	7
・回答者の年齢 ・寺院での立場	
● 寺院の周辺状況と寺院施設（問2～問6）	7
・周辺地域 ・施設の有無、改修 ・墓地、納骨堂 ・事業運営	
・修繕積立金の状況	
● 寺族の状況（問7～問10）	10
・住職の現況（修学、社会活動、充実感など）	
・坊守の現況（僧籍の有無、修学、社会活動など）	
・住職後継（予定）者の現況（有無、不安に感じること） ・子弟教育	
● 寺院での法要・行事や法務（問11～問21-1）	21
・法務員 ・定例法座 ・門徒宅でのお参り ・年中行事	
・報恩講の状況と新型コロナの影響 ・行事の案内方法	
・葬儀の回数、相談事 ・埋葬の相談事	
・年忌法要の状況と新型コロナの影響	
● 寺院での諸活動、情報発信と受信（問22～問26）	31
・教化団体 ・情報発信 ・寺報 ・諸活動	
・情報機器の利用方法とその頻度 ・寺院ホームページ	
・情報受信の状況	
● 門信徒（問27～問37）	36
・門徒戸数とその増減 ・新規門信徒となるきっかけ ・門信徒分布	
・遠隔地門信徒との関係 ・門徒総代の選出方法	
・寺院経理と門信徒の関係	
● 寺院運営（問38～問48）	41
・護持の現状 ・護持会費 ・専従と兼職 ・住職世帯の収入源	
・寺院の年間収入 ・収入と支出の内訳 ・護持運営上の問題	
・解散、合併 ・困窮寺院への対応	
● 宗門の活動（問49～問51）	49
・『宗報』の閲覧状況 ・電子メールやSNSによる情報受信	
・宗門総合振興計画	
● 寺院診断（問52～問59）	50
・寺則と運営状況 ・決算書の承認 ・分かりやすい伝道	
・コミュニケーションの工夫 ・寺院の清掃 ・地域社会への貢献	
・門信徒とのコミュニケーション	
● 新型コロナの影響（問60～問64）	53
・影響の推移 ・新しい試み ・表面化した課題	
・門信徒からの要望 ・伝えたいこと	
● 幸福に感じたこと（問65～問66）	55
・幸福に感じたこと ・幸せの程度	

※現在の状況（2021年7月1日）をお答えください。

※新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナと略称）の影響により、現在休止や中止などが想定される設問には、（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）と注記してあります。この注記がある設問については、新型コロナ流行前（2019年12月以前）の状況についてお答えください。

問01-1 回答者の年齢についてあてはまる番号に○印をつけてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	10代・20代	29	0.4
2	30代	320	4.5
3	40代	1103	15.6
4	50代	1653	23.4
5	60代	1843	26.1
6	70代	1643	23.3
7	80代以上	469	6.6

合計 7060 100.0
欠損値 26

コメント：50代から70代までで、全体の7割以上を占める。

問01-2 回答者の寺院での立場についてあてはまる番号に○印をつけてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	住職（兼務住職を含む）	5804	82.3
2	住職代務	297	4.2
3	坊守	355	5.0
4	副住職	137	1.9
5	前住職	115	1.6
6	前坊守	37	0.5
7	上記以外の寺族	196	2.8
8	門信徒	72	1.0
9	その他	37	0.5

合計 7050 100.0
欠損値 36

コメント：全体の8割以上が住職の回答。

■寺院の周辺状況や寺院の施設について、おたずねします

問02 周辺地域の浄土真宗本願寺派の寺院の有無について教えてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	半径3キロ以内にある	5195	73.9
2	半径5キロ以内にある	942	13.4
3	半径10キロ以内にある	606	8.6
4	周辺（半径10キロ以内）に本願寺派寺院はない	274	3.9
5	把握していない、わからない	17	0.2

合計 7034 100.0
欠損値 52

コメント：他の本願寺派寺院が「半径3キロ以内にある」のは7割。5キロ以内に広げると87%にのぼる。

問03 寺院（敷地内外問わず）には次の施設を所有していますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	本堂	7011	99.2
2	庫裏	6806	96.3
3	会館	1703	24.1
4	葬儀など仏事専用会館	185	2.6
5	納骨堂	2701	38.2
6	墓地	2939	41.6
7	参拝者用駐車場	4453	63.0
8	該当する施設はない	23	0.3

回答者数 7069

欠損値 17

コメント：本堂と庫裏はほぼすべての寺院にあるが、参拝者用駐車場がある寺院は6割程度。墓地や納骨堂がある寺院はそれぞれ4割程度にとどまる。

・参拝者用駐車場・納骨堂・会館が、第9回調査（以下、前々回と略称）、第10回調査（以下、前回と略称）と比べ、増加傾向。

問03-1 問3で「1. 本堂」「2. 庫裏」に○印をつけた方に伺います。寺院の本堂・庫裏について、老朽化や災害などで10年以内に改築や新築の必要性がありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	本堂	1757	25.1
2	庫裏	1775	25.3
3	必要性はない	4395	62.7

回答者数 7007

欠損値 40

非該当 39

コメント：本堂や庫裏の建て替えが10年以内に必要とする寺院はそれぞれ4か寺に1か寺の割合。必要がない寺院が6割。

・本堂、庫裏とも改修必要ありの回答がやや減少（本堂：前回比6ポイント減、庫裏：前回比4ポイント減）。

問03-2 問3で「5. 納骨堂」「6. 墓地」に○印をつけた方に伺います。2010年以降、あなたの寺院には以下のような墓を新設・増設しましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	合葬墓	1161	26.4
2	ペット専用墓	94	2.1
3	ペットも一緒に入れる墓	19	0.4
4	納骨堂	1024	23.3
5	その他	160	3.6
6	特に新設・増設していない	2375	54.1

回答者数 4390

欠損値 80

非該当 2616

コメント：2010年以降に墓地や納骨堂を新設・増設した寺院は46%。合葬墓・納骨堂に集中している。

問04 次のような施設や事業を運営していますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	幼稚園・保育所・子ども園などの保育施設	483	7.0
2	高齢者対象の福祉施設	28	0.4
3	その他の福祉施設	21	0.3
4	貸地	141	2.0
5	駐車場	212	3.1
6	貸家・貸室（アパート・マンションなど）・貸事務所	85	1.2
7	その他	59	0.9
8	どれも運営していない	5985	86.7
9	回答しない	35	0.5

回答者数 6900

欠損値 186

コメント：8割以上の寺院は、施設・事業の運営をしていない。保育施設を運営している寺院は7%。

問05 本堂・庫裏の修繕などに関わる修繕積立金などの積立金の現状（ご寄進などの見込みを含む）はどのようになっていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	十分である	254	3.6
2	今後十分に積み立てられる	739	10.5
3	積立不足（見込みも薄い）	2678	38.2
4	積立金は全くなって、積み立てられる見込みもない	1548	22.1
5	積立金はないが、今後検討したい	1534	21.9
6	積立金を準備する必要がない	258	3.7

合計 7011 100.0

欠損値 75

コメント：修繕積立金が「十分である」寺院は4%。「今後十分に積み立てられる」寺院と合わせると自前で積み立てられる寺院は14%。積み立てられる見込みがない寺院は、6割を超える。

問06 土地活用の方向性についてどのようにお考えですか。今後つくりたいものとしてあてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	活用可能な土地は特にない	3103	44.3
2	納骨堂	977	14.0
3	墓地	263	3.8
4	ペット専用墓	279	4.0
5	幼稚園・保育所・子ども園などの保育施設	49	0.7
6	高齢者対象の福祉施設	92	1.3
7	カフェやヨガ教室などの文化施設	214	3.1
8	貸家・貸室（アパート・マンションなど）・貸事務所	38	0.5
9	有料駐車場	73	1.0
10	会館	201	2.9
11	葬儀など仏事専用会館	163	2.3
12	農地	92	1.3
13	その他	214	3.1
14	活用は考えていない	2248	32.1

回答者数 7002

欠損値 84

コメント：土地活用を考えていない寺院は3割、一方で活用できる土地がない寺院は4割を超える。作りたい施設としては納骨堂が最多で14%。

■ 寺族についておたずねします

問07 問7-1～問7-8は住職に関する設問です。

問07-1 住職はいますか。

	回答	実数	%
1	いる	6622	94.1
2	いない	416	5.9

合計 7038 100.0

欠損値 48

問07-2 住職は、寺院及び寺院に隣接する場所に住んでいますか。

	回答	実数	%
1	はい	6013	91.0
2	いいえ	598	9.0

合計 6611 100.0

欠損値 11

非該当 464

コメント：9割は寺院、隣接地に居住。

問7-3～問7-6-2は、住職でない方が回答されている場合はわかる範囲でご回答ください。

問07-3 住職は、浄土真宗の教えをどの教育機関で学びましたか。あてはまるものいくつかでも○印をつけて、そのなかで最も良かった1つに◎印をつけてください。

【浄土真宗の教えを学んだ教育機関（あてはまるものすべて）】

	回答	実数	%
1	中央仏教学院	1709	26.7
2	東京仏教学院	196	3.1
3	広島仏教学院	67	1.0
4	行信教校	375	5.9
5	宗学院	233	3.6
6	中央仏教学院の通信教育	550	8.6
7	龍谷大学・短期大学部	3539	55.2
8	その他の宗門関係の大学・短期大学	219	3.4
9	他宗派関係の大学・短期大学	128	2.0
10	上記以外の学校	273	4.3
11	教育機関では浄土真宗の教えは学んでいない	577	9.0

回答者数 6408
 欠損値 214
 非該当 464

コメント：半数の住職は、龍大・短大で学んだ。中央仏教学院卒は4人に1人。
 ・龍谷大学卒がやや減少（前回比5ポイント減）。中央仏教学院卒が増加傾向。

【そのなかで最も良かった教育機関（○印は1つ）】

	回答	実数	%
1	中央仏教学院	886	30.0
2	東京仏教学院	78	2.6
3	広島仏教学院	19	0.6
4	行信教校	166	5.6
5	宗学院	65	2.2
6	中央仏教学院の通信教育	200	6.8
7	龍谷大学・短期大学部	1394	47.2
8	その他の宗門関係の大学・短期大学	44	1.5
9	他宗派関係の大学・短期大学	27	0.9
10	上記以外の学校	73	2.5

合計 2952 100.0
 欠損値 2879
 非該当 1255

※郵送回答では欠損値が多く、この集計表の解釈にはさらなる分析検討が必要。

問07-4 住職は、寺院外で下記のような会・グループに参加していますか。それぞれについて、その頻度を教えてください（○印は1つずつ。新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

【ボランティアのグループ】

	回答	実数	%
1	週1回以上	184	2.9
2	月1～3回程度	778	12.3
3	3か月に1回程度	372	5.9
4	半年に1回程度	244	3.8
5	年に1回程度	284	4.5
6	参加していない	4484	70.7

合計 6346 100.0
 欠損値 276
 非該当 464

コメント：ボランティアグループに参加している住職が29%。参加している1862人のうち、約半数の48%は年に数回以下の参加。

【趣味関係のグループ】

	回答	実数	%
1	週1回以上	378	6.0
2	月1～3回程度	824	13.0
3	3か月に1回程度	330	5.2
4	半年に1回程度	161	2.5
5	年に1回程度	166	2.6
6	参加していない	4488	70.7

合計 6347 100.0
 欠損値 275
 非該当 464

コメント：趣味関係のグループに参加している住職は29%。参加している1859人のうち、65%が月に数回以上の参加。

【育児支援など子どもに関する活動】

	回答	実数	%
1	週1回以上	212	3.3
2	月1-3回程度	261	4.1
3	3か月に1回程度	176	2.8
4	半年に1回程度	138	2.2
5	年に1回程度	216	3.4
6	参加していない	5342	84.2
合計		6345	100.0
欠損値		277	
非該当		464	

コメント：育児支援など子ども関連の活動をしている住職は16%。活動している1003人のうち、月に1回以上活動している人は47%。

【地域行事（運動会、盆踊りなど）】

	回答	実数	%
1	週1回以上	46	0.7
2	月1-3回程度	333	5.2
3	3か月に1回程度	636	10.0
4	半年に1回程度	856	13.5
5	年に1回程度	1362	21.5
6	参加していない	3115	49.1
合計		6348	100.0
欠損値		274	
非該当		464	

コメント：地域行事に参加している住職は51%。参加している3233人のうち、7割近くは年に1、2回の参加。

【地域の美化活動】

	回答	実数	%
1	週1回以上	60	0.9
2	月1-3回程度	290	4.6
3	3か月に1回程度	824	13.0
4	半年に1回程度	1325	20.9
5	年に1回程度	1073	16.9
6	参加していない	2774	43.7
合計		6346	100.0
欠損値		276	
非該当		464	

コメント：地域の美化活動に参加している住職は56%。参加している3572人のうち、67%は年に1、2回の参加。

問07-5 住職は、具体的にどのような社会活動に参加していますか。あてはまるものいくつかをつけて、そのなかで最も注力しているもの1つに◎印をつけてください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

【住職が参加している社会活動（あてはまるものすべて）】

	回答	実数	%
1	途上国支援や非戦平和活動	461	7.1
2	過疎対策や町（村）おこしなど、地域貢献活動	819	12.7
3	青少年の非行や教育格差に関わる活動	800	12.4
4	貧困・経済格差・飢餓に関わる活動	473	7.3
5	環境保全やエネルギーに関わる活動	204	3.2
6	人権・差別に関わる活動	786	12.2
7	介護福祉施設や地域福祉に関わる活動	796	12.3
8	ジェンダー（男女共同参画、性の多様性）関連の活動	128	2.0
9	被災地支援	598	9.3
10	自死問題に関わる活動	190	2.9
11	身体や精神に障がいを持つ人たちに関わる活動	351	5.4
12	その他	542	8.4
13	特に参加していない	3335	51.7

回答者数 6453
 欠損値 169
 非該当 464

コメント：社会活動に参加している人は48%で約半数。参加している3118人のうち、多いのは「地域貢献活動」（26%）、「青少年活動」（26%）、「福祉活動」（26%）、「人権活動」（25%）。

【そのなかで最も注力しているもの（○印は1つ）】

	回答	実数	%
1	途上国支援や非戦平和活動	86	5.0
2	過疎対策や町（村）おこしなど、地域貢献活動	319	18.6
3	青少年の非行や教育格差に関わる活動	281	16.4
4	貧困・経済格差・飢餓に関わる活動	115	6.7
5	環境保全やエネルギーに関わる活動	41	2.4
6	人権・差別に関わる活動	234	13.6
7	介護福祉施設や地域福祉に関わる活動	261	15.2
8	ジェンダー（男女共同参画、性の多様性）関連の活動	11	0.6
9	被災地支援	128	7.5
10	自死問題に関わる活動	28	1.6
11	身体や精神に障がいを持つ人たちに関わる活動	61	3.6
12	その他	150	8.7

合計 1715 100.0
 欠損値 1403
 非該当 3968

※郵送回答では欠損値が多く、この集計表の解釈にはさらなる分析検討が必要。

問07-6 住職とまわりの人の関わりについて伺います。

問07-6-1 住職が心配事や愚痴を聞いてあげる人、あてはまるすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	配偶者	4646	71.3
2	同居の子ども	2400	36.8
3	別居の子ども	1557	23.9
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	2617	40.2
5	門徒	4647	71.3
6	近隣住民（門徒以外）	1874	28.8
7	友人	2704	41.5
8	インターネット上の相手	233	3.6
9	その他	178	2.7
10	そのような人はいない	361	5.5

回答者数 6516
 欠損値 106
 非該当 464

コメント：愚痴を聞いてあげる相手は、配偶者・門徒がともに71%。

問07-6-2 反対に、住職の心配事や愚痴を聞いてくれる人、あてはまるすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	配偶者	4721	73.0
2	同居の子ども	1336	20.7
3	別居の子ども	889	13.7
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	2066	31.9
5	門徒	1764	27.3
6	近隣住民（門徒以外）	429	6.6
7	友人	2482	38.4
8	インターネット上の相手	101	1.6
9	その他	166	2.6
10	そのような人はいない	542	8.4

回答者数 6469
 欠損値 153
 非該当 464

コメント：愚痴を聞いてくれる人は「配偶者」が7割を超えて突出しており、聞いてあげるよりも多い。その他の選択肢については、いずれも聞いてあげるより、聞いてもらう方が少ない。

問07-7 あなたは寺院を運営する中でどの程度、充実感を得ていますか。あてはまる程度の番号に○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	0（全く感じていない）	93	1.4
2	1	117	1.8
3	2	247	3.8
4	3	581	9.0
5	4	408	6.3
6	5	1578	24.3
7	6	813	12.5
8	7	1183	18.2
9	8	937	14.4
10	9	213	3.3
11	10（非常に感じている）	316	4.9

合計 6486 100.0
 欠損値 136
 非該当 464

コメント：充実感が9点以上の人は8%。4点以下の、どちらかというと感じていない人は22%。中間の5～8点は69%。

問07-8 あなたは、具体的に何をしている時に充実感を得ていますか。特にあてはまるもの3つまで○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	寺院の法要・儀式の執行	4010	61.2
2	寺院子弟の教育	225	3.4
3	本堂・境内の清掃	1568	23.9
4	家事・家族の世話	494	7.5
5	寺院行事の準備や世話をすること	1285	19.6
6	地域の子どもたちへの教育	365	5.6
7	寺院の教化団体での活動	729	11.1
8	聖典を学ぶこと	918	14.0
9	門信徒宅での法要・儀式	2740	41.8
10	法話	1576	24.1
11	聴聞	1385	21.1
12	門信徒の相談にのること	1271	19.4
13	SNSや電子メールによる発信	87	1.3
14	社会貢献活動に参画すること	413	6.3
15	地域活動に参画すること	362	5.5
16	適度な余暇があること	926	14.1
17	その他	156	2.4
18	特に充実感はない	370	5.6

回答者数 6551
 欠損値 71
 非該当 464

コメント：充実感を感じる時として、最も多いのが「寺院の法要・儀式の執行」（6割）、次に「門信徒宅での法要・儀式」が4割。

問08 問8-1～問8-8は坊守に関する設問です。

問08-1 坊守はいますか。

	回答	実数	%
1	いる	6070	86.6
2	いない	943	13.4
	合計	7013	100.0
	欠損値	73	

コメント：坊守がいる寺院は87%。

問08-2 住職からみた坊守の続柄を教えてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	住職の配偶者	5244	86.7
2	前住職の配偶者	596	9.9
3	その他の親族	137	2.3
4	その他	70	1.2

合計 6047 100.0
 欠損値 23
 非該当 1016

コメント：坊守の87%は住職の配偶者。

問08-3 坊守は、寺院及び寺院に隣接する場所に住んでいますか。

	回答	実数	%
1	はい	5628	92.8
2	いいえ	435	7.2

合計 6063 100.0
 欠損値 7
 非該当 1016

コメント：9割以上の坊守は寺院または隣接地に住んでいる。

問08-4 坊守は、僧籍をもっていますか。

	回答	実数	%
1	はい	3066	50.6
2	いいえ	2994	49.4

合計 6060 100.0
 欠損値 10
 非該当 1016

コメント：坊守が僧籍を持っている寺院は5割。

問08-5 坊守は、法務（お参りなど）をどの程度行っていますか。もっとも近いものを選択してください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	全部	150	2.5
2	7, 8割程度	247	4.1
3	半分程度	415	6.9
4	2, 3割程度	1141	18.9
5	ほぼしない	1752	29.0
6	全くしない	2328	38.6

合計 6033 100.0
 欠損値 37
 非該当 1016

コメント：法務を行っていない坊守が68%。

問8-6～問8-8は、坊守でない方が回答されている場合はわかる範囲でご回答ください。

問08-6 坊守は、浄土真宗の教えをどの教育機関で学びましたか。あてはまるものいくつかでも○印をつけて、そのなかで最も良かった1つに◎印をつけてください。

【浄土真宗の教えを学んだ教育機関（あてはまるものすべて）】

	回答	実数	%
1	中央仏教学院	662	11.3
2	東京仏教学院	61	1.0
3	広島仏教学院	31	0.5
4	行信教校	64	1.1
5	宗学院	16	0.3
6	中央仏教学院の通信教育	1308	22.2
7	龍谷大学・短期大学部	639	10.9
8	その他の宗門関係の大学・短期大学	607	10.3
9	他宗派関係の大学・短期大学	151	2.6
10	上記以外の学校	237	4.0
11	教育機関では浄土真宗の教えは学んでいない	2582	43.9

回答者数 5879
 欠損値 191
 非該当 1016

コメント：坊守の44%は、み教えを教育機関で学んだことがない。学んだ3297人のなかでは、中央仏教学院の通信教育が40%を占める。
 ・通信教育が減少傾向（前回比4ポイント減）。中央仏教学院卒が増加傾向（前回比5ポイント増）。「学んでいない」も増加傾向（前回比4ポイント増）。

【そのなかで最も良かった教育機関（○印は1つ）】

	回答	実数	%
1	中央仏教学院	316	19.8
2	東京仏教学院	29	1.8
3	広島仏教学院	15	0.9
4	行信教校	35	2.2
5	宗学院	6	0.4
6	中央仏教学院の通信教育	597	37.5
7	龍谷大学・短期大学部	298	18.7
8	その他の宗門関係の大学・短期大学	205	12.9
9	他宗派関係の大学・短期大学	46	2.9
10	上記以外の学校	47	2.9

合計 1594 100.0
 欠損値 1703
 非該当 3789

※郵送回答では欠損値が多く、この集計表の解釈にはさらなる分析検討が必要。

問08-7 坊守は、寺院外で下記のような会・グループに参加していますか。それぞれについて、その頻度を教えてください（○印は1つずつ。新型コロナウイルス流行以前の状況についてお答えください）。

【ボランティアのグループ】

	回答	実数	%
1	週1回以上	216	3.7
2	月1～3回程度	668	11.4
3	3か月に1回程度	403	6.9
4	半年に1回程度	270	4.6
5	年に1回程度	278	4.7
6	参加していない	4033	68.7

合計 5868 100.0
 欠損値 202
 非該当 1016

コメント：ボランティアグループに参加している坊守は31%。参加している1835人のうち、月に1回以上活動している人は48%と半数弱。

【趣味関係のグループ】

	回答	実数	%
1	週1回以上	652	11.1
2	月1～3回程度	1310	22.3
3	3か月に1回程度	351	6.0
4	半年に1回程度	145	2.5
5	年に1回程度	123	2.1
6	参加していない	3286	56.0

合計 5867 100.0
 欠損値 203
 非該当 1016

コメント：趣味関係のグループに参加している坊守は44%。参加している2581人のうち、月に1回以上参加している人は76%。

【育児支援など子どもに関する活動】

	回答	実数	%
1	週1回以上	386	6.6
2	月1-3回程度	410	7.0
3	3か月に1回程度	242	4.1
4	半年に1回程度	174	3.0
5	年に1回程度	224	3.8
6	参加していない	4433	75.5
合計		5869	100.0
欠損値		201	
非該当		1016	

コメント：子どもに関する活動に参加している坊守は24%。参加している1436人のうち、月に1回以上参加している人は55%。

【地域行事（運動会、盆踊りなど）】

	回答	実数	%
1	週1回以上	47	0.8
2	月1-3回程度	342	5.8
3	3か月に1回程度	700	11.9
4	半年に1回程度	887	15.1
5	年に1回程度	1099	18.7
6	参加していない	2792	47.6
合計		5867	100.0
欠損値		203	
非該当		1016	

コメント：地域行事に参加している坊守は52%と半数。参加している3075人のうち、65%は年に1、2回の参加。

【地域の美化活動】

	回答	実数	%
1	週1回以上	52	0.9
2	月1-3回程度	340	5.8
3	3か月に1回程度	875	14.9
4	半年に1回程度	1202	20.5
5	年に1回程度	965	16.4
6	参加していない	2434	41.5
合計		5868	100.0
欠損値		202	
非該当		1016	

コメント：美化活動に参加している坊守は59%と過半数。参加している3434人のうち、月に1回以上活動している人は11%。

問08-8 坊守は、具体的にどのような社会活動に参加していますか。あてはまるものいくつかでも○印をつけて、そのなかで最も注力しているもの1つに◎印をつけてください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

【坊守が参加している社会活動（あてはまるものすべて）】

	回答	実数	%
1	途上国支援や非戦平和活動	167	2.9
2	過疎対策や町（村）おこしなど、地域貢献活動	549	9.4
3	青少年の非行や教育格差に関わる活動	413	7.1
4	貧困・経済格差・飢餓に関わる活動	274	4.7
5	環境保全やエネルギーに関わる活動	135	2.3
6	人権・差別に関わる活動	251	4.3
7	介護福祉施設や地域福祉に関わる活動	779	13.4
8	ジェンダー（男女共同参画、性の多様性）関連の活動	90	1.5
9	被災地支援	260	4.5
10	自死問題に関わる活動	48	0.8
11	身体や精神に障がいを持つ人たちに関わる活動	300	5.2
12	その他	357	6.1
13	特に参加していない	3556	61.1

回答者数 5823
 欠損値 247
 非該当 1016

コメント：社会活動に参加している坊守は39%。参加している2267人のなかで多い活動は「福祉活動」（34%）、「地域貢献活動」（24%）、「青少年活動」（18%）。

【そのなかで最も注力しているもの（○印は1つ）】

	回答	実数	%
1	途上国支援や非戦平和活動	28	2.5
2	過疎対策や町（村）おこしなど、地域貢献活動	209	18.9
3	青少年の非行や教育格差に関わる活動	130	11.8
4	貧困・経済格差・飢餓に関わる活動	79	7.1
5	環境保全やエネルギーに関わる活動	30	2.7
6	人権・差別に関わる活動	55	5.0
7	介護福祉施設や地域福祉に関わる活動	278	25.1
8	ジェンダー（男女共同参画、性の多様性）関連の活動	18	1.6
9	被災地支援	74	6.7
10	自死問題に関わる活動	12	1.1
11	身体や精神に障がいを持つ人たちに関わる活動	97	8.8
12	その他	96	8.7

合計 1106 100.0
 欠損値 1161
 非該当 4819

※郵送回答では欠損値が多く、この集計表の解釈にはさらなる分析検討が必要。

問09 住職後継（予定）者について伺います。

問09-1 住職の後継（予定）者は決まっていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	決まっている（本人の意思を確認済）	3090	44.3
2	後継（予定）者はあるが、本人の意思を確認していない	1822	26.1
3	後継（予定）者に該当する者が決まっていない	2066	29.6

合計 6978 100.0
 欠損値 108

コメント：後継者が決定している寺院は44%と半数以下。後継者候補が決まっていない寺院が3割を占める。

問09-2 寺院の後継（予定）者について不安に感じることがありますか。あれば、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	後継（予定）者がいないこと	1373	20.0
2	後継（予定）者はいるが、本人の意思を確認していない	1283	18.7
3	後継（予定）者の資質が心配	538	7.8
4	住職と後継（予定）者との人間関係	190	2.8
5	住職と後継（予定）者の家族との人間関係	169	2.5
6	後継（予定）者はいるが、寺院護持の見通しが不透明であること	2344	34.2
7	その他	396	5.8
8	不安はない	1862	27.2

回答者数 6854

欠損値 232

コメント：後継者について不安がある人は7割。不安がある4992人のうち、「後継者はいるが、寺院護持の見通しが不透明」と感じる人が47%。

問10 あなたは、寺院子弟に対してどのような教育を行っている、もしくは行っていましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	荘厳や給仕の仕方	2321	33.8
2	勤行の仕方	2941	42.9
3	法衣の着方	2075	30.2
4	浄土真宗の作法（合掌・礼拝・焼香など）	2912	42.4
5	浄土真宗の教え	2049	29.9
6	名簿管理などの事務	688	10.0
7	経理や経営施策などの寺院運営に関すること	652	9.5
8	法話を聴聞させる	2085	30.4
9	その他	239	3.5
10	特に行っていない	1451	21.2
11	寺院子弟がいない	1247	18.2

回答者数 6860

欠損値 226

コメント：子弟教育をしていない人は2割。している4162人のうち、多いのは「勤行の仕方」（71%）、「浄土真宗の作法」（70%）、「荘厳や給仕の仕方」（56%）。

■寺院での法要や行事、法務について、おたずねします

問11 寺族以外で日常的な法務に従事する僧侶（法務員）はいますか。

	回答	実数	%
1	いる	888	12.7
2	いない	6096	87.3
合計		6984	100.0
欠損値		102	

コメント：法務員がいる寺院は13%。

【「いる」回答寺院の法務員数】※週3回以下の法務の場合は0.5人と数えてください。

	回答	実数	%
1	1人未満	193	22.1
2	1人以上2人未満	432	49.4
3	2人以上3人未満	168	19.2
4	3人以上5人未満	69	7.9
5	5人以上	13	1.5
合計		875	100.0
欠損値		13	
非該当		6198	

問12 あなたの寺院では主にだれが法務を行っていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	住職（兼務住職を含む）	5413	82.3
2	住職代務	328	5.0
3	坊守	108	1.6
4	副住職（後継（予定）者を含む）	318	4.8
5	前住職	121	1.8
6	前坊守	23	0.3
7	上記以外の寺族	144	2.2
8	寺族以外の衆徒	24	0.4
9	法務員	45	0.7
10	その他	51	0.8
合計		6575	100.0
欠損値		511	

コメント：法務を住職が主に行っている寺院は82%。

問13 寺院では、定例法座、月例法座を行っていますか（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

	回答	実数	%
1	行っている	4130	58.8
2	行っていない	2891	41.2
合計		7021	100.0
欠損値		65	

コメント：定例法座・月例法座を行っている寺院は59%。

【盆参り：門徒の約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	1609	23.6
2	1割未満	314	4.6
3	1割以上2割未満	1254	18.4
4	2割以上3割未満	470	6.9
5	3割以上4割未満	403	5.9
6	4割以上5割未満	166	2.4
7	5割以上6割未満	355	5.2
8	6割以上7割未満	176	2.6
9	7割以上8割未満	284	4.2
10	8割以上9割未満	537	7.9
11	9割以上10割未満	656	9.6
12	10割	608	8.9
合計		6832	100.0
欠損値		254	

コメント：お盆参りをしていない寺院は24%。一方、8割以上の門徒宅へお盆参りしている寺院は26%。

【秋の彼岸参り：門徒の約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	4930	71.8
2	1割未満	259	3.8
3	1割以上2割未満	747	10.9
4	2割以上3割未満	262	3.8
5	3割以上4割未満	209	3.0
6	4割以上5割未満	82	1.2
7	5割以上6割未満	98	1.4
8	6割以上7割未満	62	0.9
9	7割以上8割未満	61	0.9
10	8割以上9割未満	61	0.9
11	9割以上10割未満	48	0.7
12	10割	47	0.7
合計		6866	100.0
欠損値		220	

コメント：秋の彼岸参りをしていない寺院は72%。

【家庭報恩講（在家報恩講・お取り越し）：門徒の約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	3173	46.2
2	1割未満	191	2.8
3	1割以上2割未満	692	10.1
4	2割以上3割未満	305	4.4
5	3割以上4割未満	327	4.8
6	4割以上5割未満	141	2.1
7	5割以上6割未満	349	5.1
8	6割以上7割未満	189	2.8
9	7割以上8割未満	290	4.2
10	8割以上9割未満	428	6.2
11	9割以上10割未満	470	6.9
12	10割	306	4.5
合計		6861	100.0
欠損値		225	

コメント：家庭報恩講をしていない寺院は46%。一方、8割以上の門徒に家庭報恩講をしている寺院は18%。

【祥月参り（月忌を除く）：門徒の約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	3038	44.3
2	1割未満	519	7.6
3	1割以上2割未満	1799	26.2
4	2割以上3割未満	551	8.0
5	3割以上4割未満	292	4.3
6	4割以上5割未満	85	1.2
7	5割以上6割未満	173	2.5
8	6割以上7割未満	79	1.2
9	7割以上8割未満	73	1.1
10	8割以上9割未満	101	1.5
11	9割以上10割未満	66	1.0
12	10割	82	1.2
合計		6858	100.0
欠損値		228	

コメント：祥月参りをしていない寺院は44%。2割未満の門徒にしか行っていない寺院は34%。

問14-1 新型コロナの流行は月忌参りの実施にどの程度影響していますか。新型コロナ流行以前と比較して2020年はどれくらい影響したか下記から選んでお答えください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	大きな変化はない	1801	26.1
2	1 - 3割程度の減少	1842	26.7
3	3 - 5割程度の減少	696	10.1
4	5 - 7割程度の減少	235	3.4
5	7 - 9割程度の減少	148	2.1
6	9割以上の減少	141	2.0
7	増加した	5	0.1
8	そもそも月忌参りは行っていない	2030	29.4

合計 6898 100.0

欠損値 188

コメント：月忌参りを行っていない寺院を除いた4868か寺のうち、新型コロナで「大きな変化はない」と回答したのは37%。「1 - 3割の減少」は38%。

問15 寺院では、次にあげる法要・行事を行っていますか。行っていることすべてに○印をつけてください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

	回答	実数	%
1	元旦会	4415	62.9
2	御正忌報恩講法要（1月中に実施のみ）	2663	38.0
3	永代経法要	5480	78.1
4	春季彼岸会	4128	58.8
5	花まつり	1473	21.0
6	宗祖降誕会	2405	34.3
7	盂蘭盆会	3878	55.3
8	秋季彼岸会	3999	57.0
9	報恩講法要	6044	86.2
10	除夜会	3172	45.2
11	その他	840	12.0
12	何も行っていない	101	1.4

回答者数 7015

欠損値 71

コメント：報恩講法要を実施している寺院は86%。次いで多いのは「永代経法要」（78%）、「元旦会」（63%）。一方、「御正忌報恩講法要（1月中に実施のみ）」は38%、「宗祖降誕会」は34%にとどまる。

・前回と比べ全体的に減少傾向。

問15-1 問15-1と問15-2は、問15で「2. 御正忌報恩講法要」「9. 報恩講法要」に○印をつけた方に伺います（該当しない方は問16に進んでください）。例年の報恩講について、おおよその日数、座数と参拝延べ人数を記入してください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。
※御正忌と報恩講が別の場合はその合計。

報恩講日数（ ）日 座数（ ）座 参拝延べ（ ）人

【報恩講日数：（ ）日】

	回答	実数	%
1	1日	2869	42.8
2	2日	2586	38.6
3	3日	845	12.6
4	4日以上	403	6.0
	合計	6703	100.0
	欠損値	82	
	非該当	301	

コメント：1日実施が4割強。

【座数：（ ）座】

	回答	実数	%
1	1座	1642	24.7
2	2座	1817	27.4
3	3座	1040	15.7
4	4座	1009	15.2
5	5座	436	6.6
6	6座	297	4.5
7	7座以上	398	6.0
	合計	6639	100.0
	欠損値	146	
	非該当	301	

コメント：1座と2座を合わせると、全体の52%と半数を占める。

・前回と比べ1座がやや増加（前回比5ポイント増）。

【参拝延べ：（ ）人】

	回答	実数	%
1	10人未満	114	1.7
2	10人～19人	459	7.0
3	20人～29人	708	10.7
4	30人～49人	1386	21.0
5	50人～69人	1200	18.2
6	70人～99人	822	12.5
7	100人～149人	980	14.8
8	150人～199人	398	6.0
9	200人以上	535	8.1
	合計	6602	100.0
	欠損値	183	
	非該当	301	

コメント：延べ人数「50人未満」が全体の4割。「100人以上」の寺院は29%。

問15-2 新型コロナの流行が始まった昨年从今年にかけての報恩講法要はどのように勤めましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	何も変えずに勤めた	562	8.3
2	法要を中止した	1881	27.9
3	法中の参りあいがあるが、法中の参りあいを見合わせた	2109	31.2
4	ご講師（法話など）を招くのを見合わせた	1631	24.2
5	門信徒の参拝人数を制限した	874	12.9
6	日数もしくは座数を少なくして勤めた	2337	34.6
7	日数もしくは座数を増やし、一座の参拝者数を少なくした	152	2.3
8	会食（お斎など）をとりやめた	3456	51.2
9	法要を動画配信した	171	2.5
10	その他	451	6.7

回答者数 6751

欠損値 34

非該当 301

コメント：「会食（お斎など）をとりやめた」寺院が5割。次いで「日数もしくは座数を少なくして勤めた」（35%）、「法中の参りあいがあるが、法中の参りあいを見合わせた」（31%）が続く。

問16 寺院の行事予定をどのような方法で門信徒に案内していますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	特に案内をしていない	143	2.0
2	掲示板	3372	48.2
3	寺報	2056	29.4
4	手紙・ハガキ	4443	63.6
5	ホームページ	506	7.2
6	電子メール	46	0.7
7	SNS	250	3.6
8	住職などの寺族が口頭で伝える	1483	21.2
9	門徒総代や寺院役員などが口頭で伝える	991	14.2
10	寺院独自のパンフレット・チラシなど	2093	29.9
11	その他	328	4.7

回答者数 6991

欠損値 95

コメント：「手紙・ハガキ」で案内している寺院が6割、掲示板が約半数。「電子メール」「ホームページ」「SNS」はほとんどない。

・前回は法要案内の設問の選択肢に「インターネットなどの電子媒体」があり、回答は4%。

問17 葬儀を年間どのくらい行いましたか。過去5年間の平均回数を記入してください。また、葬儀社・派遣業者からの依頼による門信徒以外の葬儀は全体の何割にあたるかを記入してください。

【年間平均：（ ）回】

	回答	実数	%
1	1回未満	144	2.1
2	1回以上3回未満	821	12.0
3	3回以上5回未満	845	12.3
4	5回以上7回未満	818	11.9
5	7回以上9回未満	475	6.9
6	9回以上11回未満	760	11.1
7	11回以上13回未満	294	4.3
8	13回以上19回未満	684	10.0
9	19回以上25回未満	681	9.9
10	25回以上37回未満	711	10.4
11	37回以上49回未満	237	3.5
12	49回以上	397	5.8

合計 6867 100.0
欠損値 219

コメント：平均して月1回以上の頻度で葬儀があった寺院は、全体の40%。

【内、葬儀関連業者からの依頼：約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	4114	66.0
2	1割未満	290	4.7
3	1割以上2割未満	864	13.9
4	2割以上3割未満	256	4.1
5	3割以上4割未満	152	2.4
6	4割以上5割未満	66	1.1
7	5割以上6割未満	133	2.1
8	6割以上7割未満	41	0.7
9	7割以上8割未満	56	0.9
10	8割以上9割未満	79	1.3
11	9割以上10割未満	85	1.4
12	10割	94	1.5

合計 6230 100.0
欠損値 856

コメント：葬儀関連業者からの葬儀依頼のない寺院が7割近い。

・前回、葬儀に関する設問のなか、依頼者別「葬儀社」では、「0回」は74%。これと比較すると葬儀社からの依頼が8ポイント増となる。

問18 葬儀に関連して、近年増えたと感じる相談事がありますか。次のうちあてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	布施の金額	2612	37.7
2	法名	578	8.4
3	仏壇じまい	3109	44.9
4	納骨の場所と時期	1825	26.4
5	墓の建て方	328	4.7
6	墓じまい・改葬	4361	63.0
7	僧侶派遣に関するトラブル	120	1.7
8	中陰などの簡略化	2961	42.8
9	その他	174	2.5
10	増えた相談事はない	1008	14.6

回答者数 6922

欠損値 164

コメント：増えた相談事で多いのは「墓じまい・改葬」(63%)。「仏壇じまい」(45%)も「中陰などの簡略化」や「布施の金額」より多く、門徒の継承問題に関する相談が増えている。

問19 以下の埋葬や納骨の相談を受けたことがありますか。あればこの1年間のおおよその回数を記入してください（なければ「0」と記入）。

樹木葬（ ）回

合葬墓（大谷本廟除く）（ ）回

散骨（ ）回

墓じまい・改葬（ ）回

【樹木葬：（ ）回】

	回答	実数	%
1	0回	6076	90.6
2	1回	390	5.8
3	2回以上	243	3.6

合計 6709 100.0

欠損値 377

コメント：樹木葬の相談を受けたことがない寺院が約9割。

【散骨：（ ）回】

	回答	実数	%
1	0回	6125	91.3
2	1回	397	5.9
3	2回以上	187	2.8

合計 6709 100.0

欠損値 377

コメント：散骨の相談を受けたことがない寺院が約9割。

【合葬墓（大谷本廟除く）：（ ）回】

	回答	実数	%
1	0回	4424	66.1
2	1回	538	8.0
3	2回	507	7.6
4	3回～4回	504	7.5
5	5回～9回	443	6.6
6	10回以上	280	4.2

合計 6696 100.0

欠損値 390

コメント：合葬墓について相談を受けていない寺院は6割強。

【墓じまい・改葬：（ ）回】

	回答	実数	%
1	0回	1521	22.7
2	1回	1339	20.0
3	2回	1269	19.0
4	3回～4回	1175	17.6
5	5回～9回	871	13.0
6	10回以上	515	7.7

合計 6690 100.0

欠損値 396

コメント：墓じまいについて相談を受けた寺院は約8割。1年間で5回以上受けた寺院が約2割ある。

問20 年忌法要は、通常何回忌まで続くことが多いですか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	満中陰	43	0.6
2	百か日	1	0.0
3	1周忌	85	1.2
4	3回忌	593	8.6
5	7回忌	679	9.9
6	13回忌	538	7.8
7	17回忌	362	5.3
8	23回忌	93	1.4
9	25回忌	296	4.3
10	27回忌	34	0.5
11	33回忌	1209	17.6
12	50回忌	2663	38.7
13	100回忌	197	2.9
14	100回忌以上続く	29	0.4
15	その他	14	0.2
16	年忌法要は行っていない	48	0.7
合計		6884	100.0
欠損値		202	

コメント：年忌を50回忌までする寺院が最多の39%。23回忌以内で終える寺院は35%。
・前回と比べ50回忌以上の年忌が減少傾向（前回比12ポイント減）。

問20-1 年忌法要を年間どの程度行っていますか。
過去5年間に行ったおおよその平均回数を
記入してください。

【年間平均（ ）回】

	回答	実数	%
1	10回未満	1035	15.6
2	10回以上20回未満	881	13.3
3	20回以上30回未満	796	12.0
4	30回以上40回未満	715	10.8
5	40回以上50回未満	407	6.1
6	50回以上60回未満	577	8.7
7	60回以上70回未満	340	5.1
8	70回以上80回未満	190	2.9
9	80回以上90回未満	216	3.3
10	90回以上100回未満	86	1.3
11	100回以上150回未満	678	10.2
12	150回以上200回未満	251	3.8
13	200回以上250回未満	209	3.2
14	250回以上300回未満	72	1.1
15	300回以上	181	2.7
合計		6634	100.0
欠損値		202	
非該当		250	

コメント：年間平均で40回未満の寺院は、合わせて52%と半数を占める。一方、100回以上ある寺院は21%あり、多様。

問20-2 そのうち、門信徒宅での年忌法要は、年間
平均どの程度行っていますか。おおよその
割合を記入してください。

【門信徒宅での実施 年間平均 約（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	158	2.4
2	1割未満	99	1.5
3	1割以上2割未満	367	5.6
4	2割以上3割未満	256	3.9
5	3割以上4割未満	323	4.9
6	4割以上5割未満	178	2.7
7	5割以上6割未満	571	8.7
8	6割以上7割未満	365	5.6
9	7割以上8割未満	692	10.6
10	8割以上9割未満	1141	17.4
11	9割以上10割未満	1603	24.5
12	10割	790	12.1
合計		6543	100.0
欠損値		293	
非該当		250	

コメント：門信徒宅での法要を8割以上実施している寺院は54%。

問20-3 新型コロナの流行は年忌法要の実施にどの程度影響していますか。新型コロナ流行以前と比較して2020年はどれくらい影響したか下記から選んでお答えください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	大きな変化はない	1518	22.4
2	1－3割程度の減少	3088	45.6
3	3－5割程度の減少	1389	20.5
4	5－7割程度の減少	393	5.8
5	7－9割程度の減少	235	3.5
6	9割以上の減少	142	2.1
7	増加した	7	0.1

合計 6772 100.0

欠損値 64

非該当 250

コメント：年忌法要の回数に「大きな変化はない」寺院が22%。「1－3割程度の減少」があった寺院は46%と半数近くにのぼる。

問21 年忌の案内については、どのような方法で門信徒に伝えていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	特に案内をしていない	1693	24.8
2	本堂などに掲示	1869	27.4
3	寺報	728	10.7
4	手紙・ハガキ	2825	41.4
5	電子メール	22	0.3
6	SNS	22	0.3
7	電話	380	5.6
8	住職など寺族が口頭で伝える	1003	14.7
9	門徒総代や寺院役員などが口頭で伝える	121	1.8
10	その他	539	7.9

回答者数 6818

欠損値 18

非該当 250

コメント：年忌法要の案内をしていない寺院は25%。「手紙・ハガキ」で案内する寺院が4割と最も多く、「本堂などに掲示」する寺院も27%ある。

問21-1 門信徒の子ども世帯が地元から離れている場合、年忌の案内はその子ども世帯への程度案内されていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	まったく案内していない	3099	45.9
2	ほとんどの子ども世帯にも案内している	925	13.7
3	一部の子ども世帯にも案内している	1304	19.2
4	地元を離れた子ども世帯はない	108	1.6
5	年忌の案内を行っていない	1309	19.5
	合計	6745	100.0
	欠損値	91	
	非該当	250	

コメント：子ども世帯に案内していない寺院が4割以上。年忌の案内をそもそもしていない寺院をあわせると、6割以上の寺院が子ども世帯とアクセスしていない。

■寺院でのさまざまな活動、情報の発信や受信について、おたずねします

問22 次にあげる寺院での諸団体の活動は活発ですか。それぞれの活動について、教えてください（○印は1つずつ。新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

【土日曜学校、子ども会、キッズサンガ】

	回答	実数	%
1	活発である	534	7.9
2	活発ではない	1251	18.5
3	団体はない	4973	73.6
	合計	6758	100.0
	欠損値	328	

コメント：そもそも「団体はない」寺院が7割ある。あっても活動が活発な寺院はその3割程度。

【ボーイスカウト、ガールスカウト】

	回答	実数	%
1	活発である	53	0.8
2	活発ではない	145	2.2
3	団体はない	6542	97.1
	合計	6740	100.0
	欠損値	346	

コメント：そもそも「団体はない」寺院が9割以上とほとんどを占める。

【仏教青年会】

	回答	実数	%
1	活発である	108	1.6
2	活発ではない	406	6.0
3	団体はない	6226	92.4
	合計	6740	100.0
	欠損値	346	

コメント：そもそも「団体はない」寺院が9割もある。

【若婦人会】

	回答	実数	%
1	活発である	249	3.7
2	活発ではない	870	12.9
3	団体はない	5601	83.3
	合計	6720	100.0
	欠損値	366	

コメント：「団体はない」寺院が8割あり、あっても活発という寺院は4分の1程度。

【仏教婦人会】

	回答	実数	%
1	活発である	2490	36.0
2	活発ではない	2263	32.7
3	団体はない	2159	31.2

合計 6912 100.0

欠損値 174

コメント：仏教婦人会のない寺院は3割程度にとどまり、ある寺院が7割近い。ある寺院でも活動の活発な寺院はほぼ半数。

・前回と比べ「活発である」がかなりの減少（前回比8ポイント減）。「団体はない」がやや増加（前回比3ポイント増）。

【仏教壮年会】

	回答	実数	%
1	活発である	991	14.5
2	活発ではない	1634	24.0
3	団体はない	4188	61.5

合計 6813 100.0

欠損値 273

コメント：仏教壮年会のない寺院が6割で、ある寺院が4割。ある寺院で活動が活発なのはその4割程度。

【講社】

	回答	実数	%
1	活発である	260	3.9
2	活発ではない	530	7.9
3	団体はない	5927	88.2

合計 6717 100.0

欠損値 369

コメント：9割近くの寺院には団体が無い。

問23 み教を伝えるために、以下のような情報発信を行っていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	掲示伝道	4500	64.5
2	寺報	2557	36.6
3	法語ハガキ	605	8.7
4	テレフォン法話	97	1.4
5	ホームページ	691	9.9
6	SNS	373	5.3
7	動画配信	191	2.7
8	その他	550	7.9
9	情報発信は行っていない	1519	21.8

回答者数 6981

欠損値 105

コメント：情報発信をしていない寺院は2割にのぼる。情報発信している5462か寺のうち、「掲示伝道」が82%と多い。次いで、「寺報」が47%。ホームページで発信する寺院は、13%と1割程度。

問23-1 問23-1と問23-2は、問23で「2. 寺報」に○印をつけた方に伺います（該当しない方は問24に進んでください）。昨年の発行回数を記入してください。

【昨年に（ ）回発行】

	回答	実数	%
1	0回	23	0.9
2	1回	382	15.0
3	2回	520	20.4
4	3回	320	12.6
5	4回	438	17.2
6	5回	157	6.2
7	6回-12回	683	26.8
8	13回以上	23	0.9
合計		2546	100.0
欠損値		11	
非該当		4529	

コメント：寺報の発行回数「6回-12回」が27%あり、4か寺に1か寺は、2か月に1度以上、寺報を発行している。一方、半年に1度、あるいは年に1回しか発行していない寺院が35%あり、格差が大きい。

問23-2 門信徒の子ども世帯が実家から離れている場合、寺報はその子ども世帯への程度配布されていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	まったく配布していない	1319	51.8
2	ほとんどの子ども世帯に配布している	308	12.1
3	一部の子ども世帯に配布している	886	34.8
4	地元を離れた子ども世帯はない	33	1.3
合計		2546	100.0
欠損値		11	
非該当		4529	

コメント：子ども世帯にまったく配布していない寺院は約5割。

問24 寺院では以下のような活動をしていますか（寺院施設の貸し出しを含む）。あてはまるものすべてに○印をつけてください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

	回答	実数	%
1	ビハラー活動	339	4.9
2	団体旅行（団体参拝など）	2465	35.6
3	お茶・お華・習字などの教室	654	9.4
4	季節の催し（花見・盆踊りなど）	664	9.6
5	地域活動	822	11.9
6	災害時の避難所としての準備	695	10.0
7	ヨガ・ダンス・体操などの教室	543	7.8
8	子ども食堂	77	1.1
9	子ども向け学習支援	183	2.6
10	育児支援	113	1.6
11	仏教の勉強会	1093	15.8
12	コーラス	431	6.2
13	バザー・フリーマーケット	202	2.9
14	カフェ・食堂	83	1.2
15	宿坊	19	0.3
16	その他	376	5.4
17	何もしていない	2785	40.2

回答者数 6929
欠損値 157

コメント：「何もしていない」寺院が40%。している4144か寺のうち、最も多いのは「団体旅行（団体参拝など）」（60%）、次いで「仏教の勉強会」（26%）。子ども向けの活動はあわせても5%。・季節の催しがかかなりの減少（前回比12ポイント減）。

問25 寺院運営を行ううえで、最も利用している情報機器とその利用頻度を教えてください（○印は1つ）。
また、情報機器（パソコン・スマートフォンなど）をどのように利用していますか。あてはまるもの
すべてに○印をつけてください。

【情報機器の種類】（○印は1つ）

	回答	実数	%
1	パソコン	4232	67.1
2	タブレット	40	0.6
3	スマートフォン	361	5.7
4	携帯電話（スマートフォンを除く）	149	2.4
5	情報機器は利用していない	1526	24.2

合計 6308 100.0

欠損値 778

コメント：パソコンを利用している寺院が7割近くあるが、情報機器を使用していない寺院が24%もある。

【1日平均（ ）時間】

	回答	実数	%
1	1時間未満	687	16.9
2	1時間以上2時間未満	1972	48.5
3	2時間以上3時間未満	770	18.9
4	3時間以上4時間未満	396	9.7
5	4時間以上5時間未満	88	2.2
6	5時間以上	157	3.9

合計 4070 100.0

欠損値 712

非該当 2304

コメント：1時間から2時間未満の使用が約半数。

【情報機器の利用方法】（あてはまるものすべてに○印）

	回答	実数	%
1	会計帳簿の作成	2854	61.2
2	門信徒名簿の管理	3891	83.4
3	過去帳の整理	2197	47.1
4	教化資料の作成	2755	59.1
5	寺院ホームページ	772	16.5
6	SNSを用いた情報発信	428	9.2
7	電子メールを用いた門信徒との連絡	650	13.9
8	Wikipediaなどのオンライン百科事典への登録	54	1.2
9	法話のインターネット配信	141	3.0
10	法要・行事のインターネット配信	218	4.7
11	リモート法事の実施	204	4.4
12	オンライン上での役員会などの会議	137	2.9
13	キャッシュレス決済	184	3.9
14	日誌の作成	235	5.0
15	その他	198	4.2

回答者数 4665

欠損値 117

非該当 2304

コメント：情報機器の使用目的は「門信徒名簿の管理」が8割と多く、ついで「会計帳簿の作成」「教化資料の作成」が過半数。

問25-1 問25-1と問25-2は、問25の【情報機器の利用方法】で「5. 寺院ホームページ」に○印をつけた方に伺います（該当しない方は問26に進んでください）。ホームページの更新頻度を教えてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	週に1回以上更新	61	8.0
2	月に1, 2回程度更新	286	37.3
3	3か月に1, 2回程度更新	150	19.6
4	半年に1回程度更新	84	11.0
5	1年に1回程度更新	72	9.4
6	ほとんど更新していない	113	14.8
	合計	766	100.0
	欠損値	6	
	非該当	6314	

コメント：ホームページの更新頻度は「月に1, 2回程度更新」が37%。「ほとんど更新していない」寺院は15%。半年に1度と、1年に1度しか更新しない寺院は合わせて2割あり、ホームページを活用していない寺院は少なくない。

問25-2 ホームページの内容として含まれるものについて、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	法務・寺院活動報告（ブログ、季節の便りなどを含む）	483	63.1
2	法要・行事などの案内	639	83.5
3	仏事相談受付	224	29.3
4	その他相談受付	129	16.9
5	み教え	285	37.3
6	自坊の歴史・沿革などの情報	532	69.5
7	よくある質問・回答	113	14.8
8	社会活動の方針・実績など	57	7.5
9	法要や葬儀の流れの説明	133	17.4
10	法要や葬儀などの申し込みフォーム	68	8.9
11	その他	43	5.6

回答者数 765
 欠損値 7
 非該当 6314

コメント：ホームページ利用で、法要などの案内をしている寺院が8割と最も多く、ついで「自坊の歴史・沿革などの情報」（70%）、「法務・寺院活動報告（ブログ、季節の便りなどを含む）」（63%）。

問26 地域社会や門信徒の要望を聞くために、特にどのような方法をとられていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	書面（投書箱・手紙など）	575	8.8
2	電話相談の窓口	905	13.8
3	問い合わせ可能な電子メールやホームページ	387	5.9
4	SNS	158	2.4
5	実施したいが、できていない	1569	23.9
6	その他	340	5.2
7	普段のお付き合いで十分聞けている	3717	56.6

回答者数 6570
 欠損値 516

コメント：「普段のお付き合いで十分聞けている」寺院は57%と過半数を占める。「実施したいが、できていない」寺院は約2割。

■門信徒の状況について、おたずねします

問27 寺院の門徒戸数はおおよそ何戸ですか（○印は1つ）。※この設問も含め、個別の寺院情報について宗派が知ることはありません。

	回答	実数	%
1	10戸未満	330	4.7
2	10戸以上30戸未満	819	11.7
3	30戸以上50戸未満	911	13.0
4	50戸以上75戸未満	653	9.3
5	75戸以上100戸未満	730	10.4
6	100戸以上125戸未満	503	7.2
7	125戸以上150戸未満	409	5.8
8	150戸以上200戸未満	591	8.5
9	200戸以上250戸未満	412	5.9
10	250戸以上300戸未満	386	5.5
11	300戸以上400戸未満	427	6.1
12	400戸以上500戸未満	311	4.4
13	500戸以上700戸未満	234	3.3
14	700戸以上1000戸未満	166	2.4
15	1000戸以上	112	1.6
合計		6994	100.0
欠損値		92	

コメント：門徒戸数が100戸未満の寺院が全体の49%と半数近くを占める。300戸以上の寺院は全体の18%。

問28 過去3年間で、寺院の門徒戸数に変化はありましたか。おおよその増減数をそれぞれ記入してください（なければ「0」と記入）。

【増えた門徒：約（ ）戸】

	回答	実数	%
1	0戸	3752	54.6
2	1戸	464	6.8
3	2戸～3戸	1012	14.7
4	4戸～5戸	606	8.8
5	6戸～7戸	88	1.3
6	8戸～9戸	35	0.5
7	10戸～14戸	485	7.1
8	15戸～19戸	81	1.2
9	20戸～49戸	252	3.7
10	50戸以上	93	1.4
合計		6868	100.0
欠損値		218	

コメント：増えた門徒のいる寺院は45%。増えた3116か寺のうち、67%は5戸以内の増加。

【減った門徒：約（ ）戸】

	回答	実数	%
1	0戸	1443	21.0
2	1戸	431	6.3
3	2戸～3戸	1460	21.3
4	4戸～5戸	1176	17.1
5	6戸～7戸	196	2.9
6	8戸～9戸	104	1.5
7	10戸～14戸	989	14.4
8	15戸～19戸	205	3.0
9	20戸～49戸	659	9.6
10	50戸以上	202	2.9
合計		6865	100.0
欠損値		221	

コメント：減った門徒のある寺院は全体の79%と大多数。減った5422か寺のうち、10戸以上減少した寺院は38%。

問29 過去3年間で、新しく門信徒となった方とはどのような関係がきっかけとなってつながりましたか。
あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	門信徒の親戚関係	2855	42.5
2	門信徒の知人	1716	25.5
3	住職・寺族の知人	1003	14.9
4	地域住民	1392	20.7
5	寺院の法要・行事を通じて	404	6.0
6	ホームページなどインターネットを通じて	261	3.9
7	葬儀社などの紹介	1346	20.0
8	趣味を通じて	56	0.8
9	さまざまな社会活動を通じて	169	2.5
10	その他	221	3.3
11	新しい門信徒はいない	2311	34.4

回答者数 6725

欠損値 361

コメント：新門信徒がいる4414か寺のなかでは、「門信徒の親戚関係」（65%）が多い。次いで「門信徒の知人」（39%）、「地域住民」（32%）、「葬儀社などの紹介」（30%）。

問30 門信徒宅は寺院からどのくらいの距離にありますか。おおよその割合を合計10になるようにお答えください。

1. 寺院から徒歩15分未満（おおよそ1キロ以内）（ ）割
2. 寺院から車で30分未満（ ）割
3. 寺院から車で30分から1時間程度（ ）割
4. 寺院から車で1時間以上（ ）割

合計（ 10 ）割

【1. 寺院から徒歩15分未満（おおよそ1キロ以内）：（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	361	5.3
2	1割未満	107	1.6
3	1割以上2割未満	926	13.7
4	2割以上3割未満	807	11.9
5	3割以上4割未満	856	12.6
6	4割以上5割未満	551	8.1
7	5割以上6割未満	778	11.5
8	6割以上7割未満	488	7.2
9	7割以上8割未満	546	8.1
10	8割以上9割未満	558	8.2
11	9割以上10割未満	426	6.3
12	10割	367	5.4

合計 6771 100.0

欠損値 315

コメント：徒歩15分以内に門信徒の半数以上が住んでいる寺院は、全体の47%。

【2. 寺院から車で30分未満：（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	712	10.5
2	1割未満	88	1.3
3	1割以上2割未満	919	13.6
4	2割以上3割未満	1067	15.8
5	3割以上4割未満	1233	18.2
6	4割以上5割未満	765	11.3
7	5割以上6割未満	738	10.9
8	6割以上7割未満	448	6.6
9	7割以上8割未満	387	5.7
10	8割以上9割未満	242	3.6
11	9割以上10割未満	84	1.2
12	10割	88	1.3

合計 6771 100.0

欠損値 315

【3. 寺院から車で30分から1時間程度：()割】

	回答	実数	%
1	0割	1593	23.5
2	1割未満	353	5.2
3	1割以上2割未満	2375	35.1
4	2割以上3割未満	1347	19.9
5	3割以上4割未満	630	9.3
6	4割以上5割未満	249	3.7
7	5割以上6割未満	100	1.5
8	6割以上7割未満	44	0.6
9	7割以上8割未満	34	0.5
10	8割以上9割未満	20	0.3
11	9割以上10割未満	6	0.1
12	10割	20	0.3
合計		6771	100.0
欠損値		315	

【4. 寺院から車で1時間以上：()割】

	回答	実数	%
1	0割	2761	40.8
2	1割未満	511	7.5
3	1割以上2割未満	2633	38.9
4	2割以上3割未満	509	7.5
5	3割以上4割未満	178	2.6
6	4割以上5割未満	89	1.3
7	5割以上6割未満	50	0.7
8	6割以上7割未満	11	0.2
9	7割以上8割未満	12	0.2
10	8割以上9割未満	6	0.1
11	9割以上10割未満	2	0.0
12	10割	9	0.1
合計		6771	100.0
欠損値		315	

コメント：車で1時間以上かかる場所に住む門信徒がいない寺院は4割。

・前回、寺院から車で1時間以上の門信徒がいない割合は63%で、23ポイント減少している。遠方の門信徒が増加している。

問31 お参りが困難な遠隔地の門信徒に連絡をしていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	まったく連絡をしていない	1514	22.2
2	すべての人に年賀状や寺報などで連絡している	3357	49.2
3	一部の人に年賀状や寺報などで連絡している	1947	28.6
合計		6818	100.0
欠損値		268	

コメント：すべての人に連絡している寺院は49%と約半数。遠隔地の門信徒に全く連絡していない寺院が2割強。

問32 お参りが困難な遠隔地の門信徒のうち、どの程度の方の住所や動向を把握していますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	ほぼ把握している	3956	57.7
2	一部把握している	1989	29.0
3	ほとんど把握していない	555	8.1
4	把握の必要性は感じるが方法がない	158	2.3
5	把握するつもりはない	196	2.9
合計		6854	100.0
欠損値		232	

コメント：遠隔地の門信徒の動向をほぼ把握している寺院は58%と過半数を占め、ほとんど把握していない寺院は少ない。

問33 門信徒の子ども世帯が実家から離れて暮らしている場合、その連絡先を把握することについてどのようにお考えですか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	子ども世帯の連絡先を積極的に把握しようとしている	1298	18.8
2	あまり把握できていないが、必要性を感じている	4066	59.0
3	子ども世帯の連絡先を把握する必要性は感じない	1523	22.1

合計 6887 100.0
欠損値 199

コメント：子ども世帯の連絡先を「あまり把握できていないが、必要性を感じている」寺院が59%。積極的に把握しようとしている寺院は2割に満たない。

問34 門信徒の家族（小学生以下）とどのような機会に接しますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください（新型コロナ流行以前の状況についてお答えください）。

	回答	実数	%
1	（日常的に）寺院に遊びに来る	395	5.7
2	子ども会、日曜学校	832	12.0
3	サマースクールなどのイベント	783	11.3
4	寺院の法要・行事	1633	23.5
5	地域や学校などの行事	825	11.9
6	子ども向けの法要	414	6.0
7	寺院境内（もしくは隣接）にある幼稚園・保育所・子ども園	394	5.7
8	門信徒の年忌法要	4330	62.2
9	子ども食堂	44	0.6
10	その他	362	5.2
11	接する機会はほとんどない	1345	19.3
12	門信徒の家族（小学生以下）がいない	516	7.4

回答者数 6956
欠損値 130

コメント：小学生以下の家族と「接する機会はほとんどない」寺院は2割程度。子どもと接する機会が最も多いのが「年忌法要」（62%）。

問35 門徒総代をどのように選びますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	主に住職が選ぶ	2761	39.3
2	住職と門信徒の協議	2796	39.8
3	主に門信徒が選ぶ	1298	18.5
4	その他	163	2.3

合計 7018 100.0
欠損値 68

コメント：門徒総代は「住職と門信徒の協議」で選ぶ寺院と「主に住職が選ぶ」寺院がともに40%とほぼ同数。

問35-1 女性の門徒総代は、何名いるかを記入してください。

【女性（ ）名】（いない場合は「0」と記入）

	回答	実数	%
1	0人	5597	79.9
2	1人	889	12.7
3	2人以上	520	7.4

合計 7006 100.0

欠損値 80

コメント：女性の門徒総代がいる寺院は2割しかない。

・前々回では女性門徒総代の「現在就任」回答が15%。それと比較して増加傾向（前々回比5ポイント増）。

問36 寺院の経理（護持会を除く）はどのようにしていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	寺院関係者が行い、門信徒はまったく関わらない	3480	50.1
2	寺院関係者が主に行い、門信徒が補佐している	1164	16.7
3	経理を区分して、寺院関係者と門信徒が分担している	1331	19.1
4	門信徒が主に行う	609	8.8
5	外部の会計士・税理士などにすべて委託している	294	4.2
6	その他	73	1.1

合計 6951 100.0

欠損値 135

コメント：「寺院関係者が行い、門信徒はまったく関わらない」寺院が50%と半数を占める。「寺院関係者が主に行い、門信徒が補佐している」を合わせると、67%の寺院では、寺院関係者が主に経理を行っている。

問37 名簿管理や門信徒への案内方法などに関して、以下のような方法で振り返りや改善を検討していますか。最もあてはまるものに○印をつけてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	外部セミナーなどに参加して定期的に改善を検討している	67	1.0
2	インターネットや書籍情報などを用いて、定期的に改善を検討している	458	6.7
3	問題が生じた場合に改善を検討している	3524	51.6
4	寺院は健全に運営されており、改善を検討する必要性を感じない	1675	24.5
5	寺院運営を検討する人や時間がなく、改善を検討できていない	1103	16.2

合計 6827 100.0

欠損値 259

コメント：「寺院は健全に運営されており、改善を検討する必要性を感じない」寺院は25%。「寺院運営を検討する人や時間がなく、改善を検討できていない」寺院は16%。具体的に改善を検討している寺院は8%。

■寺院運営について、おたずねします

問38 寺院の護持・運営状況はいかがですか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	十分護持・運営できている	734	10.4
2	なんとか護持・運営できている	3985	56.7
3	護持・運営はきびしい	2094	29.8
4	まったく護持・運営できていない	211	3.0
	合計	7024	100.0
	欠損値	62	

コメント：「なんとか護持・運営できている」寺院は57%と過半数を占めるが、「護持・運営はきびしい」寺院は3割あり、「十分護持・運営できている」寺院は1割にとどまる。

問39 寺院や宗門の護持のために、護持会費を集めていますか。集めている場合は、1戸平均の年額を教えてください。ただし、本堂改築など特別な寄付は除いてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	5千円未満	1576	22.5
2	5千円以上1万円未満	2268	32.4
3	1万円以上2万円未満	1497	21.4
4	2万円以上	365	5.2
5	（護持会はあるが）集めていない	134	1.9
6	護持会はない	1164	16.6
	合計	7004	100.0
	欠損値	82	

コメント：護持会のない寺院が17%。護持会のある寺院、5840か寺の過半数55%は会費1万円未満。・前回と比べ5千円未満が減少傾向（前回比5ポイント減）。護持会費は増加傾向。

問40 住職は、この寺院の寺務・法務のほか何か仕事（報酬あり）をしていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	この寺院の寺務・法務に専従している	4147	60.0
2	この寺院以外での布教に従事している	527	7.6
3	寺院外での布教と、布教以外の仕事（兼職）がある	498	7.2
4	寺院外の布教はしていないが、兼職している	1365	19.8
5	住職はいない	372	5.4
	合計	6909	100.0
	欠損値	177	

コメント：住職は専従の寺院が60%。兼業している1863人のなかでは、布教をしている住職より、布教をしていない住職の方が多い。・前回と比べ専従率は減少（前回比5ポイント減）。

問40-1 兼職している方に伺います。現在、兼職している職業（報酬あり）は次のどれにあたりますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	宗務機関（宗務所・寺務所・教務所など）の職員	158	8.5
2	他の寺院の寺務・法務	160	8.6
3	幼稚園・保育所・子ども園の教職員・役員	405	21.9
4	学校の教職員・役員（幼稚園を除く）	343	18.5
5	社会福祉法人の職員・役員（保育所を除く）	127	6.9
6	官公庁職員	121	6.5
7	会社員・会社役員	231	12.5
8	パートタイム・アルバイト	158	8.5
9	NPO・NGOなど非営利法人	25	1.4
10	その他	231	12.5

回答者数 1850
 欠損値 13
 非該当 5223

コメント：「幼稚園・保育所・子ども園の教職員・役員」（22%）、「学校の教職員・役員（幼稚園を除く）」（19%）を合わせると、教育関連の兼業をしている住職が4割程度いる。

問41 住職世帯の収入源で多くの割合を占めるのは何ですか。多いもの2つまで○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	この寺院からの給与（布教収入を含む）	4610	70.9
2	兼職から得られる収入	1524	23.4
3	個人資産から得られる収入	180	2.8
4	年金収入	1994	30.6
5	代務（兼務）寺院からの給与	70	1.1
6	住職以外の家族からの収入	478	7.3
7	その他	95	1.5

回答者数 6506
 欠損値 31
 非該当 549

コメント：寺院からの給与が収入源である寺院は7割。主たる収入を年金収入として挙げている寺院は3割。

問42 寺院及び法務活動に関わる記録（日誌など）に基づいた振り返りや成果（問い合わせ内容や門信徒とのやり取りからの気づきなど）の管理をしていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	日誌などの記録を寺院活動に活用している	1332	19.4
2	日誌などの記録は実施しているが活用はしていない	1021	14.8
3	日誌などの記録は特に実施していないが、その必要性は感じている	2684	39.0
4	日誌などの記録の必要性は感じていない	1841	26.8

合計 6878 100.0
 欠損値 208

コメント：「日誌などの記録の必要性は感じていない」寺院は27%。一方、「日誌などの記録を寺院活動に活用している」寺院は2割程度で、活用の有無にかかわらず、日誌を記録している寺院は34%ある。

問43 寺院の平均年間収入額はどのくらいですか。ただし、護持会費、各種積立金は除いて、収入全体について教えてください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	0円	112	1.6
2	1円以上50万円未満	642	9.3
3	50万円以上100万円未満	670	9.7
4	100万円以上200万円未満	776	11.2
5	200万円以上300万円未満	719	10.4
6	300万円以上400万円未満	541	7.8
7	400万円以上500万円未満	481	6.9
8	500万円以上600万円未満	411	5.9
9	600万円以上700万円未満	402	5.8
10	700万円以上1000万円未満	853	12.3
11	1000万円以上2000万円未満	891	12.8
12	2000万円以上3000万円未満	254	3.7
13	3000万円以上5000万円未満	115	1.7
14	5000万円以上8000万円未満	47	0.7
15	8000万円以上	24	0.3
	合計	6938	100.0
	欠損値	148	

コメント：半数の寺院が400万未満。500万円以上1000万円未満が24%。

問43-1 年間収入・支出の内訳について差し支えない範囲でお答えください。おおよその割合を合計10になるようにお答えください。

【収入】

寺院活動収入 () 割
 布教による収入 () 割
 資産収入（駐車場、資産運用など） () 割
 その他収入 () 割
 合計 (10) 割

【支出】

法要費 () 割
 人件費 () 割
 研修参加などの人材育成費（寺族対象） () 割
 伝道教化費（門信徒対象） () 割
 その他支出 () 割
 合計 (10) 割

【収入】【寺院活動収入（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	219	3.3
2	1割未満	19	0.3
3	1割以上2割未満	234	3.5
4	2割以上3割未満	229	3.4
5	3割以上4割未満	180	2.7
6	4割以上5割未満	145	2.2
7	5割以上6割未満	229	3.4
8	6割以上7割未満	148	2.2
9	7割以上8割未満	217	3.2
10	8割以上9割未満	409	6.1
11	9割以上10割未満	881	13.1
12	10割	3799	56.6

合計 6709 100.0
欠損値 377

コメント：収入のすべてが寺院活動収入である寺院が57%と過半数を占めている。

【収入】【布教による収入（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	5247	78.2
2	1割未満	115	1.7
3	1割以上2割未満	597	8.9
4	2割以上3割未満	193	2.9
5	3割以上4割未満	112	1.7
6	4割以上5割未満	55	0.8
7	5割以上6割未満	79	1.2
8	6割以上7割未満	33	0.5
9	7割以上8割未満	47	0.7
10	8割以上9割未満	69	1.0
11	9割以上10割未満	55	0.8
12	10割	107	1.6

合計 6709 100.0
欠損値 377

コメント：布教による収入がない寺院が約8割あり、布教による収入が5割以上の寺院は、全体の6%。

【収入】【資産収入（駐車場、資産運用など）（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	6263	93.4
2	1割未満	58	0.9
3	1割以上2割未満	192	2.9
4	2割以上3割未満	85	1.3
5	3割以上4割未満	33	0.5
6	4割以上5割未満	21	0.3
7	5割以上6割未満	21	0.3
8	6割以上7割未満	10	0.1
9	7割以上8割未満	7	0.1
10	8割以上9割未満	8	0.1
11	9割以上10割未満	5	0.1
12	10割	6	0.1

合計 6709 100.0
欠損値 377

コメント：資産収入がない寺院が93%と大半。

【収入】【その他収入（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	5166	77.0
2	1割未満	64	1.0
3	1割以上2割未満	396	5.9
4	2割以上3割未満	180	2.7
5	3割以上4割未満	99	1.5
6	4割以上5割未満	87	1.3
7	5割以上6割未満	125	1.9
8	6割以上7割未満	89	1.3
9	7割以上8割未満	119	1.8
10	8割以上9割未満	145	2.2
11	9割以上10割未満	151	2.3
12	10割	88	1.3

合計 6709 100.0
欠損値 377

【支出】【法要費（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	509	7.7
2	1割未満	153	2.3
3	1割以上2割未満	1844	28.0
4	2割以上3割未満	1712	26.0
5	3割以上4割未満	836	12.7
6	4割以上5割未満	327	5.0
7	5割以上6割未満	414	6.3
8	6割以上7割未満	135	2.0
9	7割以上8割未満	165	2.5
10	8割以上9割未満	178	2.7
11	9割以上10割未満	98	1.5
12	10割	223	3.4
合計		6594	100.0
欠損値		492	

【支出】【人件費（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	1331	20.2
2	1割未満	17	0.3
3	1割以上2割未満	379	5.7
4	2割以上3割未満	437	6.6
5	3割以上4割未満	543	8.2
6	4割以上5割未満	589	8.9
7	5割以上6割未満	973	14.8
8	6割以上7割未満	899	13.6
9	7割以上8割未満	708	10.7
10	8割以上9割未満	489	7.4
11	9割以上10割未満	144	2.2
12	10割	85	1.3
合計		6594	100.0
欠損値		492	

コメント：人件費の支出がない寺院が20%。

【支出】【研修参加などの人材育成費（寺族対象）（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	3846	58.3
2	1割未満	376	5.7
3	1割以上2割未満	2004	30.4
4	2割以上3割未満	294	4.5
5	3割以上4割未満	56	0.8
6	4割以上5割未満	3	0.0
7	5割以上6割未満	9	0.1
8	6割以上7割未満	1	0.0
9	7割以上8割未満	2	0.0
10	8割以上9割未満	2	0.0
11	9割以上10割未満	1	0.0
12	10割	0	0.0
合計		6594	100.0
欠損値		492	

コメント：「人材育成費（寺族対象）」の支出がない寺院が58%。

【支出】【伝道教化費（門信徒対象）（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	2431	36.9
2	1割未満	330	5.0
3	1割以上2割未満	2583	39.2
4	2割以上3割未満	880	13.3
5	3割以上4割未満	221	3.4
6	4割以上5割未満	55	0.8
7	5割以上6割未満	53	0.8
8	6割以上7割未満	5	0.1
9	7割以上8割未満	16	0.2
10	8割以上9割未満	8	0.1
11	9割以上10割未満	1	0.0
12	10割	11	0.2
合計		6594	100.0
欠損値		492	

コメント：伝道教化費の支出がない寺院が37%。

【支出】【その他支出（ ）割】

	回答	実数	%
1	0割	2228	33.8
2	1割未満	129	2.0
3	1割以上2割未満	1725	26.2
4	2割以上3割未満	865	13.1
5	3割以上4割未満	489	7.4
6	4割以上5割未満	266	4.0
7	5割以上6割未満	252	3.8
8	6割以上7割未満	138	2.1
9	7割以上8割未満	118	1.8
10	8割以上9割未満	152	2.3
11	9割以上10割未満	92	1.4
12	10割	140	2.1
合計		6594	100.0
欠損値		492	

問43-2 新型コロナの流行は寺院の収入にどの程度影響していますか。新型コロナ流行以前と比較して2020年はどれくらい影響したか下記から選んでお答えください（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	大きな変化はない	1294	18.6
2	1 - 3割程度の減少	3557	51.2
3	3 - 5割程度の減少	1415	20.4
4	5 - 7割程度の減少	366	5.3
5	7 - 9割程度の減少	196	2.8
6	9割以上の減少	103	1.5
7	増加した	13	0.2
合計		6944	100.0
欠損値		142	

コメント：「大きな変化はない」寺院は2割近くあるが、全体の半数の寺院では「1 - 3割程度の減少」と回答。

問44 寺院では、どのような書類を管理していますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	寺則（寺院の法人規則）	6485	92.3
2	所轄庁の認証書	4316	61.4
3	責任役員会などの議事録	3362	47.9
4	事務処理簿	2424	34.5
5	門徒名簿	6191	88.1
6	役員名簿	5813	82.7
7	寺族名簿	2096	29.8
8	坊守名簿	1075	15.3
9	財産目録	5355	76.2
10	貸借対照表	923	13.1
11	収支計算書（決算書）	4177	59.5
12	境内建物及び境内地に関する書類	3906	55.6
13	公益事業に関する書類	206	2.9
14	収益事業に関する書類	337	4.8
15	過去帳又はこれに類する帳簿	6152	87.6
16	上記のものは備え付けていない	33	0.5

回答者数 7025
 欠損値 61

コメント：「寺則（寺院の法人規則）」「過去帳又はこれに類する帳簿」「門徒名簿」は9割程度の寺院で管理されている。

問45 寺院の護持・運営上の問題点をあげるとすると、どのようなものがありますか。特に問題だと思われるもの3つまで○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	葬儀の布施額の減少	1770	25.3
2	門信徒の減少	3747	53.6
3	月忌参りの減少	1893	27.1
4	伽藍維持が困難	1176	16.8
5	法要参拝者数の減少	2958	42.3
6	墓じまいの増加	662	9.5
7	護持会費の減少	371	5.3
8	年忌法要の減少	1991	28.5
9	宗費負担（賦課金、冥加金など）	2059	29.4
10	家庭報恩講参り・盆参りの減少	467	6.7
11	本山や別院の法要などの募財負担	1257	18.0
12	懇志が集まりにくい	1093	15.6
13	住職の健康問題	525	7.5
14	自由な時間の不足	310	4.4
15	その他	259	3.7
16	特に問題はない	146	2.1

回答者数 6994
 欠損値 92

コメント：「特に問題はない」寺院はほとんどなく、「門信徒の減少」「法要参拝者数の減少」は多くの寺院が抱える問題。

・前々回に比べ、「門信徒の減少」は増加（前々回比19ポイント増）。

問46 あなたの寺院では、将来的に寺院の解散もしくは合併を考えていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	考えていない	5337	77.0
2	10年以内の合併を考えている	141	2.0
3	10年以内の解散を考えている	145	2.1
4	将来的（10年以上先）に合併を考えている	812	11.7
5	将来的（10年以上先）に解散を考えている	500	7.2

合計 6935 100.0

欠損値 151

コメント：解散や合併を考えていない寺院は77%。4か寺に1か寺は、解散や合併を将来的に考えている。

問47 経済的に困窮する寺院について、あなたはどうか考えですか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	護持することのできない寺院の解散はやむを得ない	1840	26.8
2	解散よりは合併をし、門徒教化を継続した方が良い	3912	57.0
3	極力、解散も合併もせずに、門徒教化を継続すべきだ	1111	16.2

合計 6863 100.0

欠損値 223

コメント：「解散よりは合併をし、門徒教化を継続した方が良い」の回答が過半数だが、「護持することのできない寺院の解散はやむを得ない」とする意見も27%ある。

問48 近隣の寺院が経済的に困窮している場合、あなたはどのように支援したいですか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	人的・金銭的両面による支援をしたい	293	4.2
2	金銭面では難しいが、人的な支援はしたい	2745	39.6
3	人的支援は難しいが、金銭面での支援はしたい	122	1.8
4	支援したい気持ちはあるが、支援は困難	3415	49.3
5	支援しない	352	5.1

合計 6927 100.0

欠損値 159

コメント：「支援したい気持ちはあるが、支援は困難」が49%と半数近くあり、「支援しない」と合わせると、支援しない寺院が過半数を占める。支援する場合でも金銭的支援をしたいという寺院は6%。

■ 宗門の活動について、おたずねします

問49 『宗報』は読んでいますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	いつも読んでいる	3177	45.2
2	時々読んでいる	1592	22.7
3	必要に応じて読んでいる	1808	25.8
4	ほとんど読んでいない	444	6.3

合計 7021 100.0

欠損値 65

コメント：「いつも読んでいる」寺院は半数以下。

問49-1 『宗報』の普段読まれている項目について、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	巻頭言	3328	51.4
2	情報コーナー（読みもの）	4401	68.0
3	連絡のコーナー	4206	65.0
4	録事	3519	54.4

回答者数 6473

欠損値 104

非該当 509

コメント：普段読んでいる項目では「情報コーナー（読みもの）」「連絡のコーナー」が6割を超える。

問50 あなたの寺院は、宗門からの情報を電子メールやSNSを使って受け取りたいですか（○印は1つ）。受け取りたい方は、どのような情報を希望されるか、教えてください。

	回答	実数	%
1	通信環境などは整っており、受け取りたい	1164	17.2
2	通信環境などが不十分であるが、受け取りたい	285	4.2
3	既存の紙媒体（冊子など）で十分なので、受け取りたくない	4076	60.2
4	通信環境などが不十分なので、受け取りたくない	1249	18.4

合計 6774 100.0

欠損値 312

コメント：「受け取りたくない」が約8割。電子メールやSNSで「受け取りたい」寺院は2割にとどまる。

問51 宗門総合振興計画に掲げられている重点項目について、あなたが期待するものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	伝灯奉告法要並びに親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の修行と記念行事の推進	1995	29.1
2	宗派の枠を越える仏教界全体の協力体制の充実と宗門内外組織との連携の強化	1349	19.7
3	社会活動に寄与する宗門人のネットワークの構築	1123	16.4
4	僧侶の本分の励行	1886	27.5
5	念仏者の生活実践	1610	23.5
6	お寺にご縁のない方々と共に集える開かれたお寺づくり	2804	40.9
7	組織の役割の確認	769	11.2
8	宗門財政の確立	997	14.6
9	宗門内外のニーズに応える施設の総合的検討	667	9.7
10	期待は特に感じられない	1691	24.7
	回答者数	6851	
	欠損値	235	

コメント：期待が多いのは、「お寺にご縁のない方々と共に集える開かれたお寺づくり」（41%）、次いで「伝灯奉告法要並びに親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の修行と記念行事の推進」（29%）。一方、期待していない寺院は25%。

■寺院診断に関連することについて、おたずねします

※この項目は、寺院診断に特化した設問です。この設問群も含め、個別の寺院情報について宗派が知ることはありません。

問52 寺則（寺院の法人規則）に定めてある内容と運営の実情が一致していますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	一致している	3358	48.9
2	規則内容と運営の実情は一部異なっている	1326	19.3
3	あまり寺則を意識しておらず、規則内容と運営の実情はかなり異なっている可能性がある	1788	26.0
4	寺則を紛失しそのままとなっている	76	1.1
5	寺則を管理していない	160	2.3
6	いずれも該当しない	159	2.3
	合計	6867	100.0
	欠損値	219	

コメント：「一致している」寺院は5割弱で、「あまり寺則を意識しておらず、規則内容と運営の実情はかなり異なっている可能性がある」寺院は26%。

問53 寺院の決算書を、宗団法人の責任役員会などで承認していますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	承認している	3818	55.0
2	承認しないこともある	473	6.8
3	承認していない	1314	18.9
4	決算書はない	1341	19.3

合計 6946 100.0

欠損値 140

コメント：承認している寺院は過半数を占める。一方、「承認していない」と「決算書はない」を合わせて38%。

問54 あなたの寺院では、責任役員会での議決内容や収支報告などの重要事項を門信徒に対し開示を行っていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	積極的に実施している	1962	28.2
2	どちらかといえば実施している	1862	26.8
3	どちらかといえば実施していない	792	11.4
4	ほとんど実施していない	1123	16.2
5	全く実施していない	1214	17.5

合計 6953 100.0

欠損値 133

コメント：実施している寺院としていない寺院が拮抗している。

問55 あなたは、聞き手にとって分かりやすい伝道をするために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	なるべく難しい漢語表現を避ける	4705	68.4
2	テーマをひと言で言い表せる簡潔なものにする	1815	26.4
3	身近な例話を用いる	4855	70.6
4	馴染み深い聖典の言葉を使う	1782	25.9
5	視聴覚教材を用いる	873	12.7
6	話し合い法座など対話型の伝道を行っている	417	6.1
7	その他	207	3.0
8	分かりやすさはあまり気にしていない	244	3.5

回答者数 6878

欠損値 208

コメント：分かりやすい伝道を心がけているとの回答は96%。「身近な例話を用いる」(71%)、「なるべく難しい漢語表現を避ける」(68%)が多く、「視聴覚教材を用いる」「話し合い法座など対話型の伝道を行っている」は少ない。

問56 あなたの寺院は、普段の何気ないコミュニケーションにおいて、門信徒や来訪者が親しみを感じ気軽に話せるような工夫を心がけていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	いつも必ず心がけている	2027	29.1
2	心がけている	3818	54.7
3	心がけることもある	800	11.5
4	心がけることは少ない	216	3.1
5	心がけていない	114	1.6

合計 6975 100.0
欠損値 111

問57 あなたの寺院における本堂・境内敷地・墓地は、いつも清潔感を感じさせる環境となっていますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	いつもしっかりと清掃・整頓され清潔感を感じさせる環境である	1555	22.2
2	どちらかという清掃・整頓され清潔感を感じさせる環境である	4547	64.9
3	どちらかという清掃・整頓されていない環境である	612	8.7
4	清掃・整頓されていない環境であることが多い	210	3.0
5	清掃・整頓されていない環境である	62	0.9
6	清掃・整頓する必要性は感じない	16	0.2

合計 7002 100.0
欠損値 84

コメント：「清潔感を感じさせる環境」と回答した寺院が87%。

問58 あなたは、総合的にみて地域社会における住民との交流や地域活性化に貢献できていると感じますか。あてはまる程度の番号に○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	0（全く貢献できていない）	241	3.5
2	1	286	4.1
3	2	588	8.5
4	3	975	14.0
5	4	607	8.7
6	5	1856	26.7
7	6	754	10.8
8	7	800	11.5
9	8	580	8.3
10	9	154	2.2
11	10（非常に貢献できている）	111	1.6

合計 6952 100.0
欠損値 134

コメント：6点以上をつけた人は34%と、3人に1人とどまる。

問59 あなたは、総合的にみて門信徒と密接なコミュニケーションができていますか。あてはまる程度の番号に○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	0 (全くコミュニケーションできていない)	56	0.8
2	1	65	0.9
3	2	174	2.5
4	3	532	7.6
5	4	534	7.7
6	5	1675	24.1
7	6	1031	14.8
8	7	1301	18.7
9	8	1143	16.4
10	9	296	4.3
11	10 (非常にコミュニケーションできている)	151	2.2
合計		6958	100.0
欠損値		128	

コメント：6点以上をつけた人は56%。

■新型コロナの影響による寺院運営の実態について、おたずねします

問60 寺院における新型コロナの影響は、現在までどのように推移していますか（○印は1つ）。

	回答	実数	%
1	影響はなかった	463	6.6
2	影響はあったが、現在は小さくなってきている	2032	29.0
3	影響はあり、現在も続いている	4110	58.7
4	影響はあり、現在ますます大きくなってきている	392	5.6
合計		6997	100.0
欠損値		89	

コメント：6割以上の寺院で、調査実施時（2021年7月）も新型コロナの影響は続いている。

問61 新型コロナ流行のなか、寺院で何か新しい試みを始められましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください（新しく始めたものだけに○印をつけてください）。

	回答	実数	%
1	手紙や電話による門信徒の近況確認	444	6.5
2	寺報の新規発行	214	3.1
3	教化冊子の配布	564	8.2
4	法話などのプリントを作成して配布	485	7.0
5	掲示伝道の強化	803	11.7
6	ホームページの開設	157	2.3
7	SNSでの発信（頻度増などを含む）	269	3.9
8	法話のインターネット配信	130	1.9
9	法要・行事のインターネット配信	246	3.6
10	リモート法事（年忌や月忌、盆参りなどを含む）の実施	444	6.5
11	オンライン上での役員会などの会議	62	0.9
12	法要や相談事のインターネット予約の実施	27	0.4
13	クラウドファンディングの活用	6	0.1
14	VRやARの活用	6	0.1
15	寺院や墓参りに来られない方の仏事を代理で実施	576	8.4
16	子ども支援活動	97	1.4
17	寺院施設の開放	263	3.8
18	終活に関連する活動	73	1.1
19	キャッシュレス決済	27	0.4
20	その他	185	2.7
21	新しい試みはしていない	4180	60.7

回答者数 6883

欠損値 203

コメント：「新しい試みはしていない」寺院が6割を占める。試みをしている2703か寺のうち、多いのは「掲示伝道の強化」（30%）、「寺院や墓参りに来られない方の仏事を代理で実施」（21%）、「教化冊子の配布」（21%）。

問62 新型コロナの影響で、表面化したお寺の課題はありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	仏事（月参りや年忌など）の減少	3859	55.2
2	仏事の簡略化	4293	61.4
3	寺院収入の減少	4218	60.3
4	寺院以外での収入の減少	335	4.8
5	寺院内で感染者がでた	38	0.5
6	門信徒との会話の減少	2253	32.2
7	会食（お齋）などの減少	4327	61.8
8	デジタル化への対応	560	8.0
9	社会問題に貢献できていない	438	6.3
10	人々に寄り添う活動ができない	1065	15.2
11	一緒にお勤めができない	1537	22.0
12	寺院での各種参拝者の減少	3224	46.1
13	門徒総代や世話人などの寺院関係者との関係性の希薄化	1455	20.8
14	隣寺や法中・組などとの関係性の希薄化	2520	36.0
15	地域住民との関係性の希薄化	1065	15.2
16	その他	78	1.1
17	特になし	438	6.3

回答者数 6996
欠損値 90

コメント：「会食（お齋）などの減少」「仏事の簡略化」「寺院収入の減少」「仏事（月参りや年忌など）の減少」は半数以上の寺院で課題となっている。

問63 新型コロナの影響下において、門信徒からの要望や意見などはありましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	寺院での法要・行事の縮小	2926	42.3
2	従来通りの法要・行事の執行	735	10.6
3	寺院での法要・行事の再開	885	12.8
4	門信徒をやめたい（離壇に関する相談）	405	5.9
5	年忌・月忌参りなどの門信徒宅法務の再開	387	5.6
6	年忌・月忌参りなどの門信徒宅法務の中止（延期）	3064	44.3
7	生活困窮者への支援などの取り組み	65	0.9
8	感染症対策の徹底	1168	16.9
9	寺院施設の開放	113	1.6
10	不安を抱える人たちへの対応（悩み相談など）	229	3.3
11	デジタル化への対応	172	2.5
12	新型コロナ感染への不安	1554	22.5
13	仏教・真宗への期待	184	2.7
14	その他	52	0.8
15	特になし	1547	22.4

回答者数 6917
欠損値 169

コメント：門信徒から要望が「特になし」寺院は22%。要望があった5370か寺のうち、「年忌・月忌参りなどの門信徒宅法務の中止（延期）」（57%）、「寺院での法要・行事の縮小」（54%）は、半数を超えた。

問64 新型コロナの流行のなかで、門信徒を問わず、さまざまな人々にこれから伝えたいと思うことはありますか。どのようなことを伝えたいか教えてください（自由記述）。

※公表は省略

■最後におたずねします

問65 お寺の活動のなかで最も幸福に感じたことを教えてください（自由記述）。

※公表は省略

問66 あなたは、自身の人生を振り返ってみて、どの程度で自身が幸せであると思われますか。あてはまる程度の番号に○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	0 (全く幸せではない)	57	0.9
2	1	53	0.8
3	2	89	1.3
4	3	237	3.5
5	4	208	3.1
6	5	1323	19.8
7	6	619	9.3
8	7	1058	15.8
9	8	1438	21.5
10	9	640	9.6
11	10 (非常に幸せである)	955	14.3

合計 6677 100.0

欠損値 409

コメント：8点以上は45%。

寺院診断を希望される方は、「希望する」に○印をつけてください。

	回答	実数	%
1	希望する (2022年6月頃、大和総研より寺院診断結果が送付されます)	2217	35.0
2	希望しない	4126	65.0

合計 6343 100.0

欠損値 743

第11回宗勢基本調査実施条例

令和元年宗達第1号
2019（令和元）年9月6日

（趣旨）

第1条 宗勢調査規程（昭和35年宗則第8号）第2条の規定に基づき実施する「第11回宗勢基本調査」（以下「宗勢調査」という。）については、この宗達の定めるところによる。

2 宗勢調査は、宗門全体の動静を捉え、宗門に包括される一般寺院及び非法人寺院（以下「寺院」という。）の現況を調査した基礎資料を得るとともに、統計的な分析を加え、宗務全般に十全に活用できる分析資料を作成することを目的とする。

（実施方法）

第2条 宗勢調査は、すべての寺院を対象とし、次の各号の定めるところにより実施するものとする。

一 宗勢調査は、調査票を作成し、これを寺院に送付して行う。

二 教務所長及び組長は、教区及び組における宗勢調査の実施責任者となり、総局の指示する調査業務に当るものとする。この場合において、教務所長は、当該教務所の職員を事務担当者として、調査業務に従事させることができる。

三 沖縄県宗務特別区における宗勢調査の実施責任者については、前号の規定を準用する。この場合において、「教務所長」とあるのは「沖縄県宗務事務所長」と、「組長」とあるのは「組長職務」と、「教区及び組」とあるのは「沖縄県宗務特別区」と、「当該教務所」とあるのは「沖縄県宗務事務所」とそれぞれ読み替えるものとする。

四 寺院の住職は、当該寺院における宗勢調査の実施責任者となる。但し、住職が欠けたとき、又は事故があるときは、住職代務又は寺族代表者が実施責任者となることができる。

五 前号の規定にかかわらず、寺院の実施責任者が欠けている場合には、副住職、住職であった者、寺族及び責任役員たる門徒に調査票を記入させることができる。

2 前項に規定するほか、宗勢調査は、寺院以外を対象として実施することができる。この場合において、調査の対象及び実施方法などは、総局が、調査目的に応じて定めるところによる。

（実施期間）

第3条 宗勢調査の実施期間は、令和2年7月1日から令和2年7月25日までとする。但し、調査状況に応じ、実施期間を延長することができる。

（成果の公表）

第4条 宗勢調査の整理、集計、分析及び宗門内外への公表などは、令和3年度において行うことを目標とする。但し、それ以前に中間報告を公表することができる。

（実施機関の設置）

第5条 宗勢調査の実施機関として、総局の指定するところにより、第11回宗勢基本調査実施センター（以下「センター」という。）を置く。

2 センターは、調査研究員若干人で組織し、専門的知識を有する者のうちから、総長が委嘱する。

（秘密の保護）

第6条 個別の寺院を対象とした分析並びに情報の提供及び公開は、当該寺院の希望がなければ行ってはならない。

2 前項の規定のほか、個別の寺院が特定されるような情報の提供及び公開は行ってはならない。

（第11回宗勢基本調査協議会）

第7条 宗勢調査の実施について協議し、宗勢調査を円滑に推進するため、第11回宗勢基本調査協議会（以

下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、宗勢調査の調査内容、調査方法、分析内容その他宗勢調査における重要事項について協議し、決定する。
- 3 協議会は、会長1人及び委員若干人で組織する。
- 4 会長は、総長の指名する総務をもって充て、会務を統理する。
- 5 委員は、宗務部門の管理職以上の者及び宗務関係者のうちから、総長が指名する。
- 6 協議会は、必要のつど、会長が招集する。

(補則)

第8条 この宗達に定めるもののほか、宗勢調査の実施について必要な事項は、総長が定める。

附 則

- 1 この宗達は、発布の日から施行する。
- 2 第10回宗勢基本調査実施条例（平成27年宗達第1号）は、廃止する。

第11回宗勢基本調査実施条例の一部を変更する宗達

令和2年宗達第6号

2020（令和2）年5月28日

第11回宗勢基本調査実施条例（令和元年宗達第1号）の一部を次のように変更する。

第3条中「令和2年」を「令和3年」に改める。

第4条中「令和3年度」を「令和4年度」に改める。

附 則

この宗達は、発布の日から施行する。

第11回宗勢基本調査 中間報告
(単純集計) に関するご質問は
浄土真宗本願寺派総合研究所ま
でお問い合わせください。

浄土真宗本願寺派総合研究所

〒600-8349 京都市下京区堺町92
伝道第三本部

TEL : 075-371-9244 FAX : 075-371-5761